

---

下野市総合計画策定に係る市民アンケート集計結果報告書

(平成 18 年度)

---

平成 19 年 3 月



## 目次

調査の概要.....	1
調査内容.....	1
調査結果.....	4
A これまでの市の取り組みに対する満足度 .....	4
B 今後の公共サービスのあり方.....	10
C 今後の市の取り組み .....	20
D まちづくりへの参加 .....	30
E 市の将来像.....	40
F 自由回答.....	45

## 調査の概要

### 調査内容

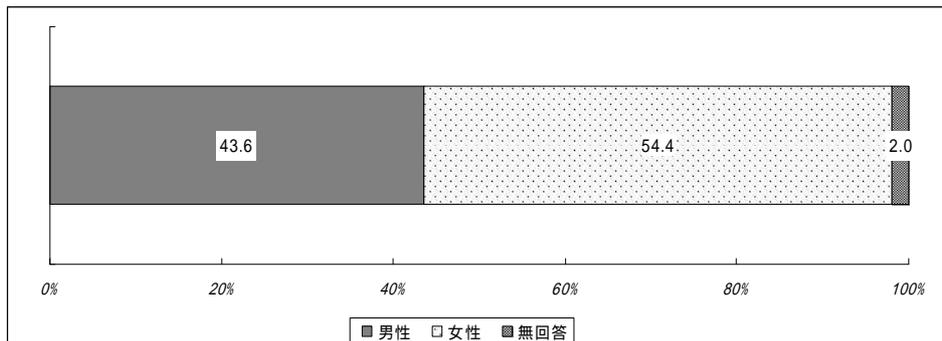
- ・ 調査対象  
20歳以上の下野市民 10,000人
- ・ 調査方法  
郵送による配布・回収
- ・ 調査期間  
平成18年11月1日から平成18年11月17日
- ・ 回収状況  
配布数 10,000 回収票数 3,357 回収率 33.6%
- ・ 調査項目
  - A これまでの市の取り組みに対する満足度  
問1．日常生活における満足度
  - B 今後の公共サービスのあり方  
問2．公共サービスを受ける権利と義務との関係について  
問3．公共サービスの一部を民間に委託することについて
  - C 今後の市の取り組み  
問4．行政施策のうち、力を入れて欲しい項目
  - D まちづくりへの参加  
問5．ボランティアやコミュニティ活動について  
問6．行政との関わりについて、今後どのような活動をしたいか
  - E 市の将来像  
問7．下野市をどのようなまちにするのが望ましいと思うか
  - F 属性  
問8．性別  
問9．年齢  
問10．居住地区  
問11．居住年数
  - G 自由回答

回答者の属性

< 性別 >

(単位：人、%)

	調査数	男性	女性	無回答
回答者数	3,357	1,464	1,827	66
割合	100	43.6	54.4	2.0

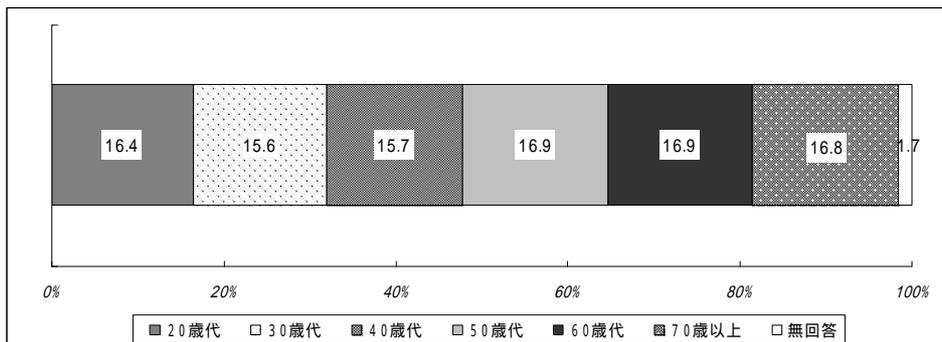


(N=3,357)

< 年齢 >

(単位：人、%)

	調査数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
回答者数	3,357	551	523	526	566	569	565	57
割合	100	16.4	15.6	15.7	16.9	16.9	16.8	1.7

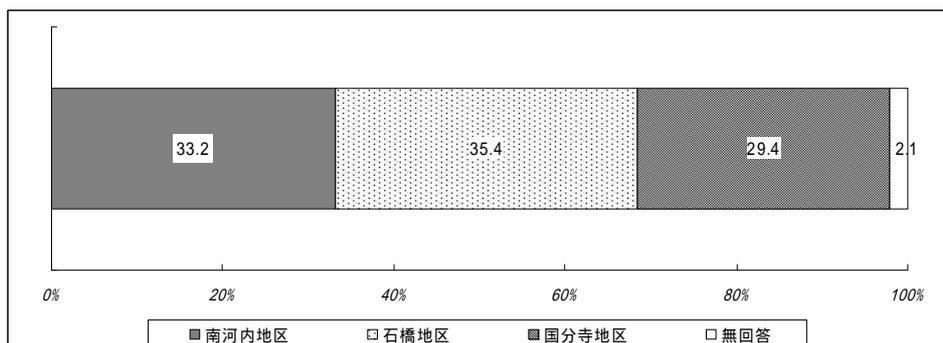


(N=3,357)

< 居住地区 >

( 单位 : 人、% )

	調査数	南河内地区	石橋地区	国分寺地区	無回答
回答者数	3,357	1,115	1,187	986	69
割合	100	33.2	35.4	29.4	2.1

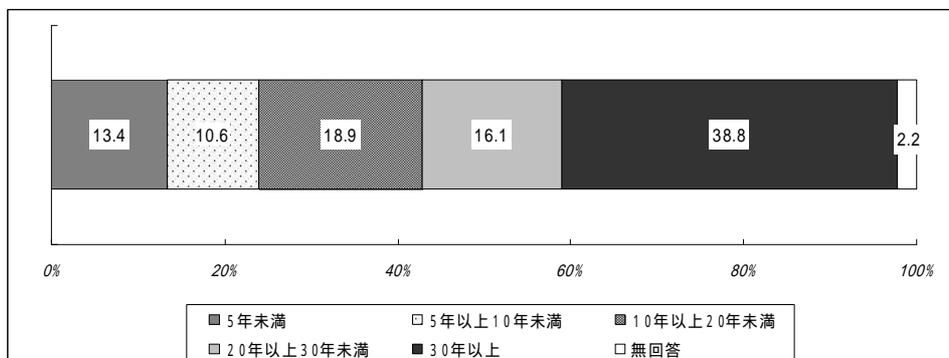


(N=3,357)

< 居住年数 >

( 单位 : 人、% )

	調査数	5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	無回答
回答者数	3,357	451	355	634	540	1,302	75
割合	100	13.4	10.6	18.9	16.1	38.8	2.2



(N=3,357)

## 調査結果

### A これまでの市の取り組みに対する満足度

#### 問1．日常生活における満足度

これまでの市の取り組みに対して、日常生活における満足度をうかがったところ、表1、図1のようになった。「満足」「やや満足」を合わせた回答の割合を項目ごとに比較すると、「8．上水道の整備」において42.5%と、満足している層が最も高く、次いで「9．下水道の整備」は38.1%、「7．ごみ処理・リサイクル」は34.9%の順になっている。

各項目を、後述の6つのカテゴリに分類すると、上記のように満足度が高いのは「生活基盤」内の項目であることが読み取れる。

次に、「不満」「やや不満」を合わせた回答の割合を項目ごとに比較すると、「41．市の財政運営」において最も高く、約4割(39.5%)の人が不満に感じている。次いで、「22．保険・年金」が36.9%、「40．市の仕事の効率性」が36.7%、「31．商業の振興」が34.2%、「34．観光の振興」が32.9%の順になっている。

不満が強く出ている項目をカテゴリ別にみると、「行政」が多く、次いで「産業」となっている。

注) 各項目は、以下の6つのカテゴリに分類される。

- ・生活基盤：消防・防災、防犯、消費者保護の取り組み、交通安全対策、公害対策、環境対策、ごみ処理・リサイクル、上水道の整備、下水道の整備
- ・都市基盤：まちなみ景観、市街地整備、道路整備、公共交通の整備、公園・緑地の整備、自然環境保全
- ・福祉・保健・医療：児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉、健康づくりへの取り組み、健康づくり施設の整備、医療体制、保険・年金
- ・教育・文化：幼児教育、小中学校の教育、社会教育・文化的活動を行う機会、スポーツ・レクリエーション活動の機会、青少年の健全育成、文化・芸術活動の促進、文化遺産の保存や活用、地域間交流・国際交流
- ・産業：商業の振興、工業の振興、農業の振興、観光の振興
- ・行政：行政の情報を知る機会、まちづくり活動に参加する機会、男女共同参画の取り組み、他市町村との連携、市役所の窓口サービス、市の仕事の効率性、市の財政運営

問1 次の項目について、日常生活においてどの程度の満足感をお持ちでしょうか。あなたのお気持ちに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を で囲んでください。

表1 日常生活における満足度

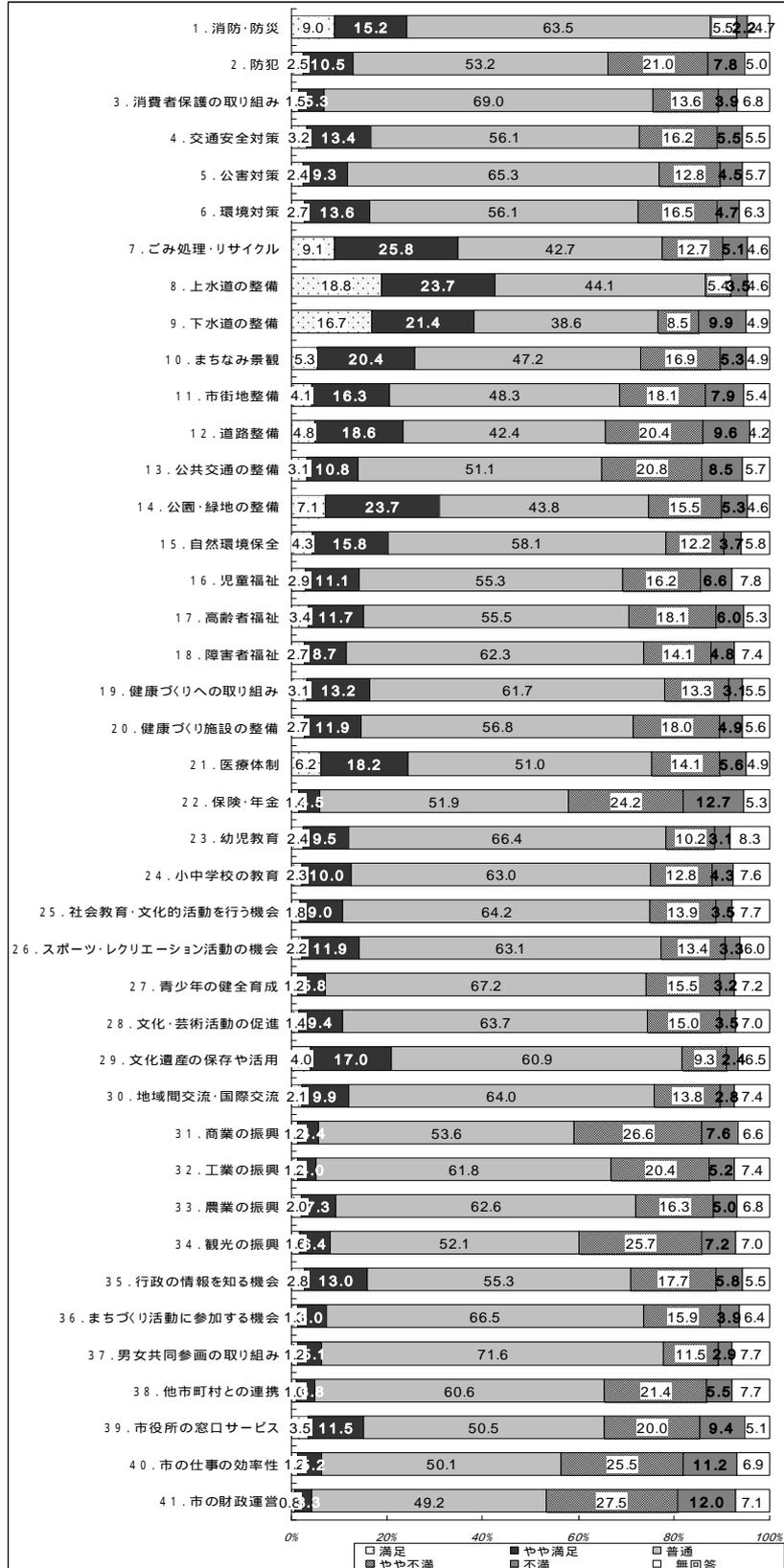
(単位：人、%)

	調査数	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
1. 消防・防災	3,357 100	301 9.0	511 15.2	2,131 63.5	183 5.5	73 2.2	158 4.7
2. 防犯	3,357 100	83 2.5	352 10.5	1,787 53.2	705 21.0	261 7.8	169 5.0
3. 消費者保護の取り組み	3,357 100	50 1.5	179 5.3	2,315 69.0	456 13.6	130 3.9	227 6.8
4. 交通安全対策	3,357 100	107 3.2	451 13.4	1,882 56.1	545 16.2	186 5.5	186 5.5
5. 公害対策	3,357 100	79 2.4	313 9.3	2,193 65.3	429 12.8	151 4.5	192 5.7
6. 環境対策	3,357 100	92 2.7	458 13.6	1,883 56.1	555 16.5	158 4.7	211 6.3
7. ごみ処理・リサイクル	3,357 100	304 9.1	867 25.8	1,432 42.7	428 12.7	170 5.1	156 4.6
8. 上水道の整備	3,357 100	630 18.8	796 23.7	1,480 44.1	180 5.4	116 3.5	155 4.6
9. 下水道の整備	3,357 100	561 16.7	718 21.4	1,295 38.6	287 8.5	332 9.9	164 4.9
10. まちなみ景観	3,357 100	178 5.3	686 20.4	1,583 47.2	566 16.9	178 5.3	166 4.9
11. 市街地整備	3,357 100	136 4.1	548 16.3	1,623 48.3	606 18.1	264 7.9	180 5.4
12. 道路整備	3,357 100	161 4.8	624 18.6	1,422 42.4	685 20.4	323 9.6	142 4.2
13. 公共交通の整備	3,357 100	105 3.1	364 10.8	1,717 51.1	697 20.8	284 8.5	190 5.7
14. 公園・緑地の整備	3,357 100	240 7.1	795 23.7	1,472 43.8	520 15.5	177 5.3	153 4.6
15. 自然環境保全	3,357 100	146 4.3	531 15.8	1,951 58.1	409 12.2	124 3.7	196 5.8
16. 児童福祉	3,357 100	99 2.9	374 11.1	1,855 55.3	545 16.2	222 6.6	262 7.8
17. 高齢者福祉	3,357 100	114 3.4	392 11.7	1,863 55.5	606 18.1	203 6.0	179 5.3
18. 障害者福祉	3,357 100	90 2.7	292 8.7	2,090 62.3	475 14.1	160 4.8	250 7.4
19. 健康づくりへの取り組み	3,357 100	105 3.1	444 13.2	2,071 61.7	447 13.3	104 3.1	186 5.5
20. 健康づくり施設の整備	3,357 100	90 2.7	400 11.9	1,908 56.8	605 18.0	166 4.9	188 5.6
21. 医療体制	3,357 100	209 6.2	610 18.2	1,712 51.0	474 14.1	189 5.6	163 4.9

(単位：人、%)

	調査数	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
22. 保険・年金	3,357 100	47 1.4	152 4.5	1,743 51.9	813 24.2	425 12.7	177 5.3
23. 幼児教育	3,357 100	80 2.4	320 9.5	2,229 66.4	343 10.2	105 3.1	280 8.3
24. 小中学校の教育	3,357 100	77 2.3	335 10.0	2,116 63.0	429 12.8	145 4.3	255 7.6
25. 社会教育・文化的活動を行う機会	3,357 100	60 1.8	301 9.0	2,154 64.2	467 13.9	118 3.5	257 7.7
26. スポーツ・レクリエーション活動の機会	3,357 100	74 2.2	400 11.9	2,118 63.1	451 13.4	111 3.3	203 6.0
27. 青少年の健全育成	3,357 100	39 1.2	195 5.8	2,255 67.2	519 15.5	108 3.2	241 7.2
28. 文化・芸術活動の促進	3,357 100	47 1.4	317 9.4	2,137 63.7	502 15.0	118 3.5	236 7.0
29. 文化遺産の保存や活用	3,357 100	134 4.0	570 17.0	2,043 60.9	313 9.3	80 2.4	217 6.5
30. 地域間交流・国際交流	3,357 100	71 2.1	332 9.9	2,149 64.0	464 13.8	94 2.8	247 7.4
31. 商業の振興	3,357 100	40 1.2	149 4.4	1,801 53.6	892 26.6	255 7.6	220 6.6
32. 工業の振興	3,357 100	40 1.2	133 4.0	2,076 61.8	686 20.4	174 5.2	248 7.4
33. 農業の振興	3,357 100	66 2.0	246 7.3	2,103 62.6	548 16.3	167 5.0	227 6.8
34. 観光の振興	3,357 100	55 1.6	215 6.4	1,748 52.1	862 25.7	243 7.2	234 7.0
35. 行政の情報を知る機会	3,357 100	93 2.8	435 13.0	1,857 55.3	593 17.7	194 5.8	185 5.5
36. まちづくり活動に参加する機会	3,357 100	43 1.3	201 6.0	2,233 66.5	533 15.9	131 3.9	216 6.4
37. 男女共同参画の取り組み	3,357 100	40 1.2	170 5.1	2,404 71.6	387 11.5	99 2.9	257 7.7
38. 他市町村との連携	3,357 100	34 1.0	126 3.8	2,036 60.6	719 21.4	184 5.5	258 7.7
39. 市役所の窓口サービス	3,357 100	118 3.5	387 11.5	1,694 50.5	673 20.0	315 9.4	170 5.1
40. 市の仕事の効率性	3,357 100	40 1.2	174 5.2	1,682 50.1	855 25.5	375 11.2	231 6.9
41. 市の財政運営	3,357 100	28 0.8	112 3.3	1,651 49.2	922 27.5	404 12.0	240 7.1

図1 日常生活における満足度



(N=3,357)

満足度を年齢別にみると、満足度が最も高いのはどの年代も「上水道の整備」である。「下水道の整備」についても、すべての年代で5番目までに入っており、30歳代、40歳代、70歳以上では2番目に挙がっている。3番目に挙がるのは、60歳代、70歳以上を除いて「消防・防災」となっており、60歳代、70歳以上でも4番目に挙がっている。「公園・緑地の整備」は、20歳代で2番目に挙がっており、30歳代、40歳代でも5番目に挙がるなど比較的若い年代層での満足度が高い。一方、比較的高い年代層では、「ごみ処理・リサイクル」や「文化遺産の保存や活用」が挙がっている。

不満度を年齢別にみると、比較的若い年代層で上位に挙がっているのが、「市の財政運営」と「市の仕事の効率性」である。60歳代、70歳以上で不満度が最も高いのが「保険・年金」であり、20歳代では2番目、30歳代～50歳代でも3～4番目に挙がっている。また、30歳代を除くすべての年代で「商業の振興」が入っている。その他、20歳代では「観光の振興」、30歳代では「児童福祉」と「市役所の窓口サービス」、40歳代では「防犯」、50歳代では「他市町村との連携」、60歳代では「工業の振興」、70歳以上では「農業の振興」が挙がっているのが特徴的である。

表 1 - 1 年齢別満足度上位 5 項目

満足度	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
1 位	8.上水道の整備 1.5	8.上水道の整備 1.8	8.上水道の整備 2.1	8.上水道の整備 3.0	8.上水道の整備 3.3	8.上水道の整備 2.9
2 位	14.公園・緑地の整備 1.1	9.下水道の整備 1.1	9.下水道の整備 1.0	7.ごみ処理・リサイクル 1.2	7.ごみ処理・リサイクル 2.2	9.下水道の整備 2.0
3 位	1.消防・防災 1.0	1.消防・防災 1.0	1.消防・防災 0.9	1.消防・防災 1.0	9.下水道の整備 1.9	7.ごみ処理・リサイクル 2.0
4 位	9.下水道の整備 0.7	10.まちなみ景観 0.4	7.ごみ処理・リサイクル 0.6	9.下水道の整備 1.0	1.消防・防災 1.4	1.消防・防災 1.6
5 位	15.市全環境保全 0.5	14.公園・緑地の整備 0.4	14.公園・緑地の整備 0.3	29.文化遺産の保存や活用 0.7	29.文化遺産の保存や活用 1.0	21.医療体制 0.8

表 1 - 2 年齢別不満度上位 5 項目

不満度	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
1 位	41.市の財政運営 -2.2	40.市の仕事の効率性 -2.5	41.市の財政運営 -3.2	41.市の財政運営 -2.8	22.保険・年金 -2.4	22.保険・年金 -1.7
2 位	22.保険・年金 -2.0	41.市の財政運営 -2.5	40.市の仕事の効率性 -2.9	40.市の仕事の効率性 -2.3	41.市の財政運営 -2.1	31.商業の振興 -1.5
3 位	40.市の仕事の効率性 -1.9	22.保険・年金 -2.2	31.商業の振興 -2.3	22.保険・年金 -2.2	31.商業の振興 -1.8	41.市の財政運営 -1.3
4 位	34.観光の振興 -1.8	16.児童福祉 -2.0	22.保険・年金 -2.2	31.商業の振興 -1.8	40.市の仕事の効率性 -1.6	32.工業の振興 -1.1
5 位	31.商業の振興 -1.5	39.市役所の窓口サービス -1.9	2.防犯 -2.1	38.他市町村との連携 -1.5	32.工業の振興 -1.5	33.農業の振興 -1.0

満足度（不満度）得点は、「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」にそれぞれ 10 点、5 点、0 点、-5 点、-10 点を与え、加重平均で算出した。

## B 今後の公共サービスのあり方

### 問2 . 公共サービスを受ける権利と義務との関係について

公共サービスを受けるなどの「権利」と、市民としての「義務」との関係についての考えをうかがったところ、表2、図2のようになった。「1. 税金等を安くしてサービスを負担額に見合った内容にするべき」との回答が 30.2%と最も多く、次いで「3. サービスの一端を市民が担うことによって負担を軽減すべき」との回答が 23.1%となっていることから、公共サービスを受けるなどの「権利」を多少放棄しても、「義務」を軽減してほしい、との意見が過半数となっていると読み取れる。また、「義務」については、税金や公共料金など金銭的負担の軽減に対する意識が強く、金銭的負担の代替である役務提供に対して積極的な回答は若干少ない。

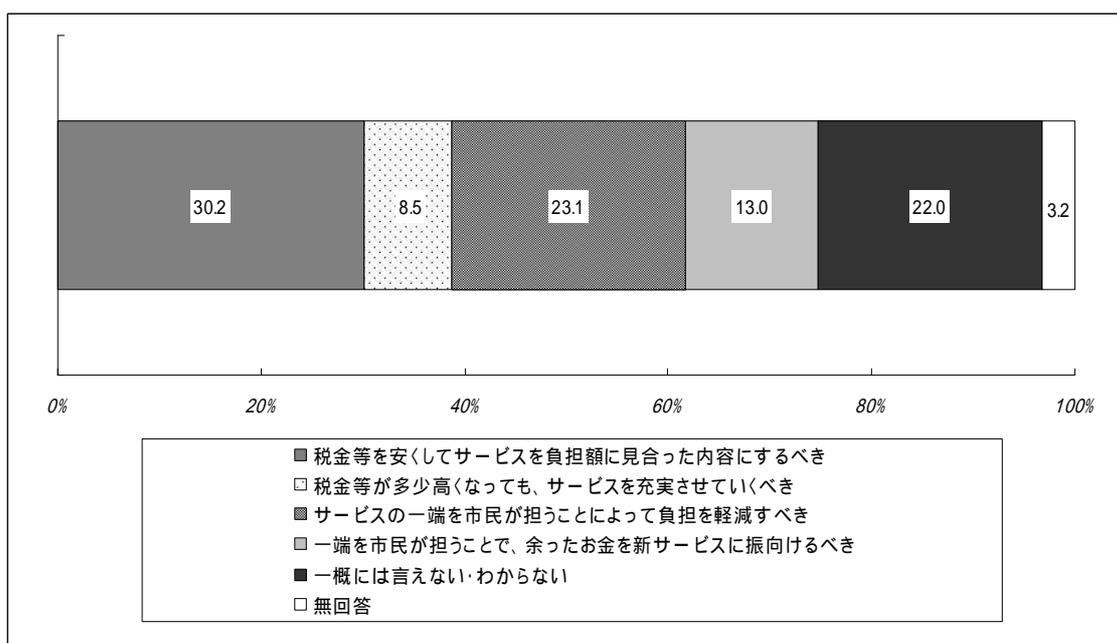
問2 あなたは公共サービス(福祉、教育、基盤整備など)を受けるなどの「権利」と、市民としての「義務」との関係についてどのようにお考えになりますか。次の中からあなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、その番号を        で囲んでください。

表2 公共サービスを受ける権利と義務の関係について

(単位：人、%)

	調査数	税金等を安くしてサービスを負担額に見合った内容にするべき	税金等が多少高くなっても、サービスを充実させていくべき	サービスの一端を市民が担うことによって負担を軽減すべき	一端を市民が担うことで、余ったお金を新サービスに振向けるべき	一概には言えない・わからない	無回答
回答者数	3,357	1,014	284	774	438	738	109
割合	100	30.2	8.5	23.1	13.0	22.0	3.2

図2 公共サービスを受ける権利と義務の関係について



(N=3,357)

問 2 を性別で見ると、男性も女性も、最も割合が高い回答は「税金等を安くしてサービスを負担額に見合った内容にするべき」との回答で、30%前後となっている。次いで、男性は「サービスの一端を市民が担うことによって負担を軽減すべき」となっているのに対して、女性は「一概には言えない・分からない」が挙がっている。

年齢別にみると、20 歳代では「税金等を安くしてサービスを負担額に見合った内容にするべき」との回答割合と「サービスの一端を市民が担うことによって負担を軽減すべき」との回答割合がほぼ同程度になっており、この傾向は 60 歳代にも見られる。40 歳代では、「サービスの一端を市民が担うことによって負担を軽減すべき」と「サービスの一端を市民が担うことで、余ったお金を新たなサービスに振り向けるべき」との回答割合がほぼ同数になっている。

地区別にみると、どの地区でも「税金等を安くしてサービスを負担額に見合った内容にするべき」の割合が高く、次いで「サービスの一端を市民が担うことによって負担を軽減すべき」となっている。

居住年数別にみると、居住年数が高いほど、「税金等を安くしてサービスを負担額に見合った内容にするべき」の回答割合が高くなっている。

図 2 a 公共サービスを受ける権利と義務の関係について（性別）

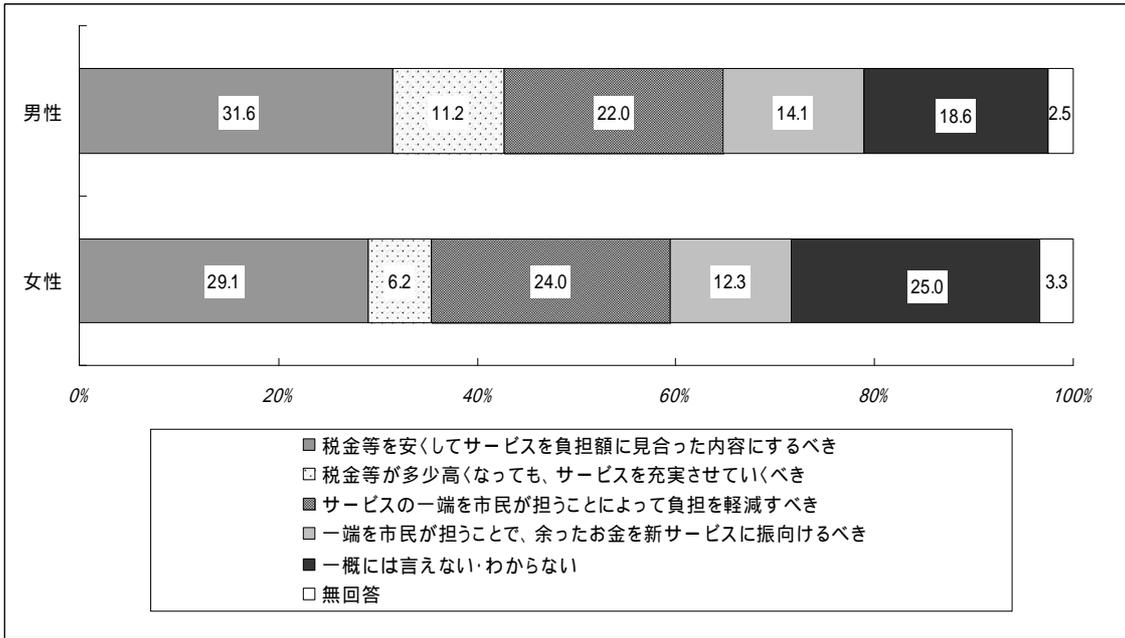


図 2 b 公共サービスを受ける権利と義務の関係について（年齢別）

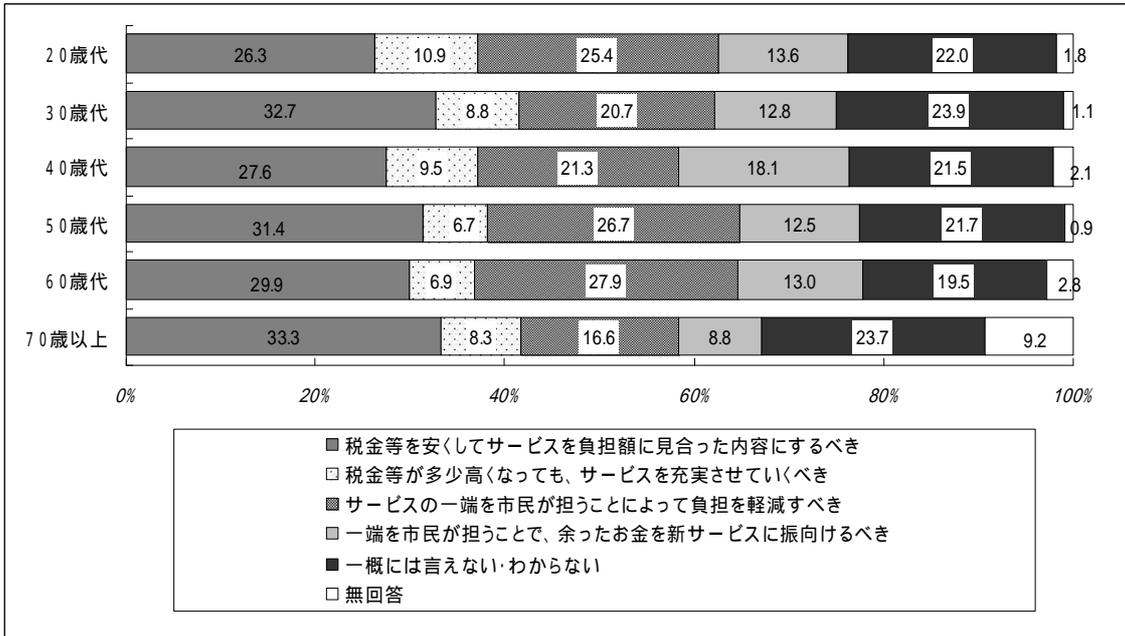


図 2 c 公共サービスを受ける権利と義務の関係について（地区別）

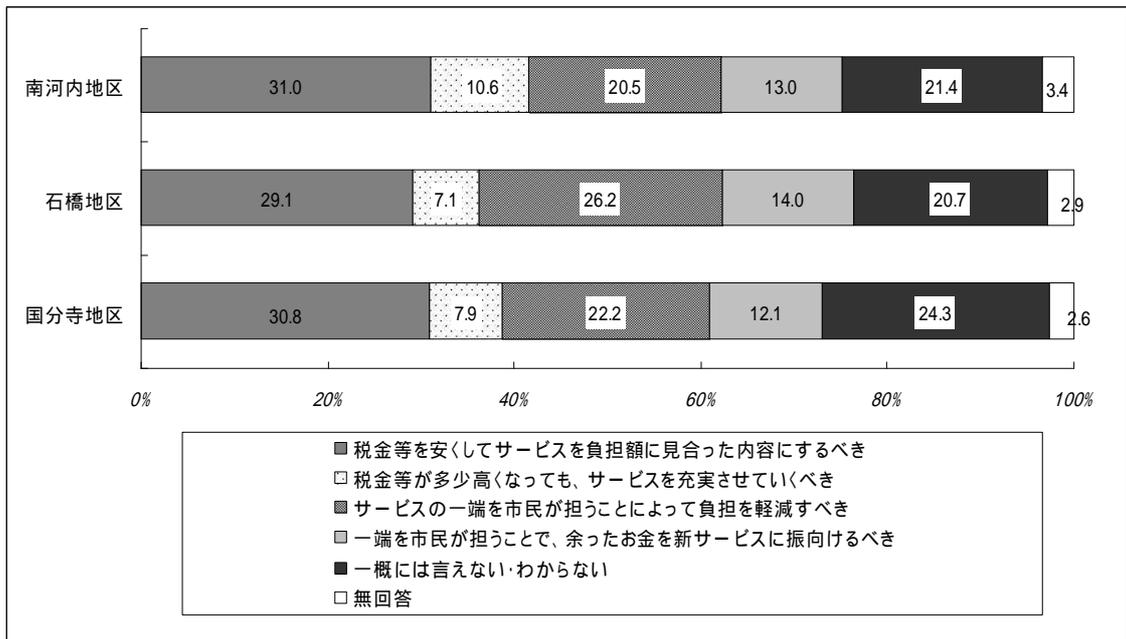
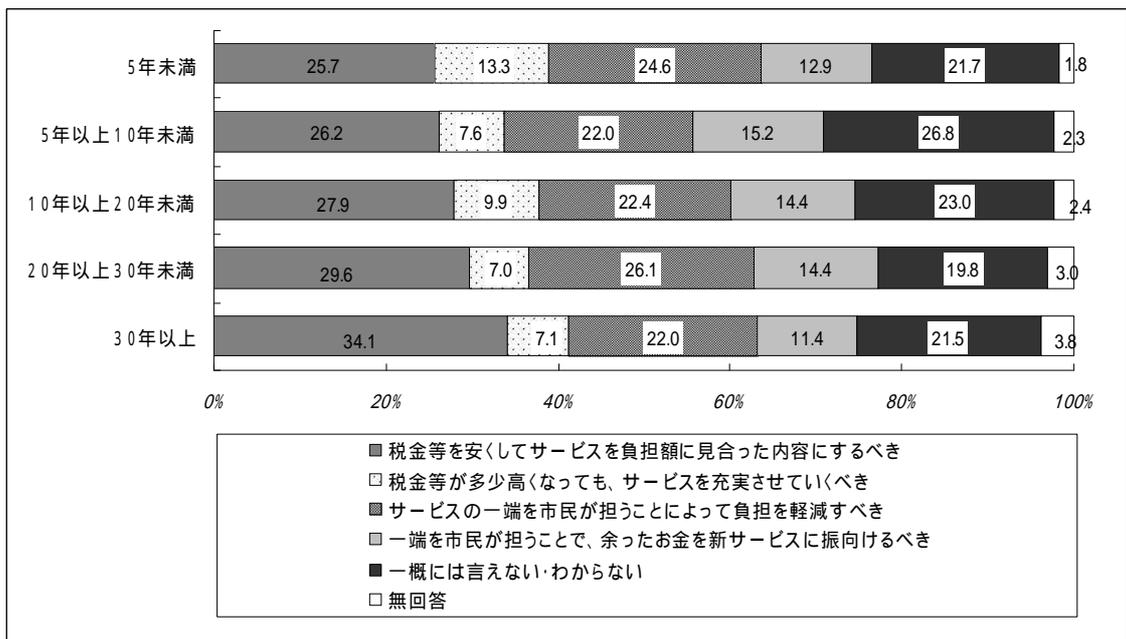


図 2 d 公共サービスを受ける権利と義務の関係について（居住年数）



### 問3 . 公共サービスの一部を民間に委託することについて

公共サービスの一部を民間に委託することについてうかがったところ、表3、図3のようになった。「1 . サービスの質が向上するのであれば、民間にまかせてよい」と「2 . 利用料金などの負担が低いのであれば、民間にまかせてよい」との回答をあわせた、民間委託に対する肯定的意見が67.7%と3分の2を超えている一方、「3 . 公共サービスは、原則として市(行政)が提供すべき」との民間委託に対する否定的意見は17.8%となっており、民間への委託を容認する意見が強いことが読み取れる。

さらに、民間への委託条件では、「1 . サービスの質の向上」を望む回答の方が「2 . 利用料金などの低下」を望む回答より多くなっている。

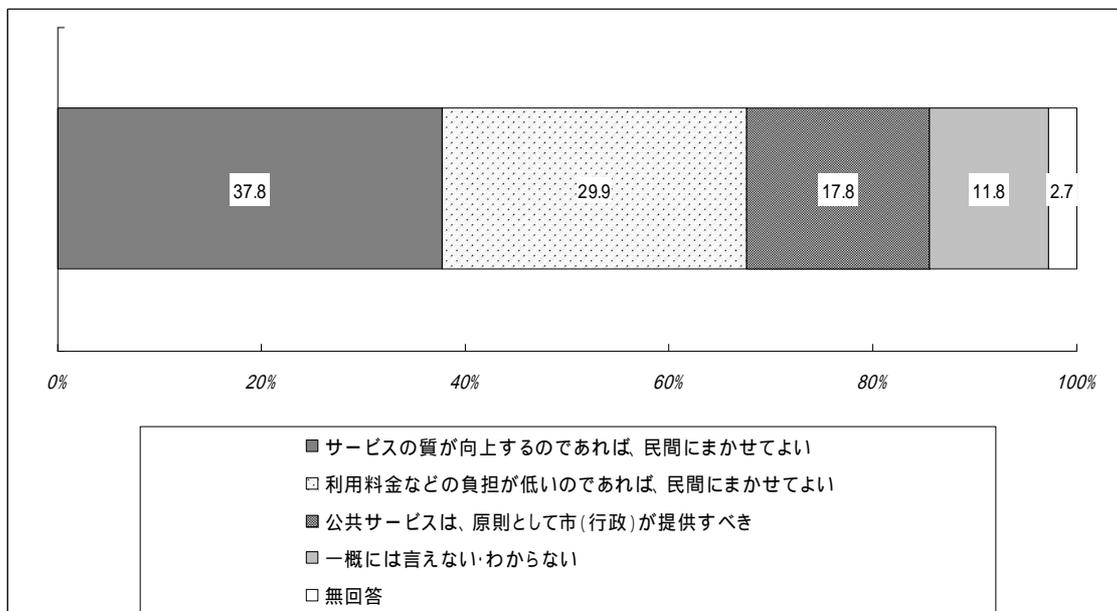
問3 あなたは公共サービスの一部を民間に委託することについて、どのようにお考えになりますか。次の中からあなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、その番号を で囲んでください。

表3 公共サービスの民間委託

(単位：人、%)

	調査数	サービスの質が向上するのであれば、民間にまかせてよい	利用料金などの負担が低いのであれば、民間にまかせてよい	公共サービスは、原則として市(行政)が提供すべき	一概には言えない・わからない	無回答
回答者数	3,357	1,269	1,005	597	396	90
割合	100	37.8	29.9	17.8	11.8	2.7

図3 公共サービスの民間委託



(N=3,357)

問3を性別で見ると、男性、女性で、ほぼ同じ傾向を示している。

年齢別にみると、「サービスの質が向上するのであれば、民間に任せてよい」の割合が30歳代で最も高く46.1%で、それ以降年齢が高くなるにつれ低くなっている。一方、「公共サービスは、原則として市（行政）が提供すべき」の割合は、年齢が高くなるにつれ高くなっており、20歳代、30歳代では、12.0%、11.9%であるのに対し、70歳以上は24.2%となっている。

地区別にみると、南河内地区と国分寺地区では、「サービスの質が向上するのであれば、民間に任せてよい」の割合が4割近くと最も高く、「利用料金などの負担が低いのであれば、民間に任せてよい」と10ポイント近く差が開いている。一方、石橋地区では、2つの選択肢の回答割合は、より拮抗している。

居住年数別にみると、居住年数が長くなるほど「公共サービスは、原則として市（行政）が提供すべき」の割合が高くなる。「サービスの質が向上するのであれば、民間に任せてよい」の割合は5年以上10年未満が最も高く、それ以降居住年数が長くなるほど低くなる傾向がある。

図 3 a 公共サービスの民間委託（性別）

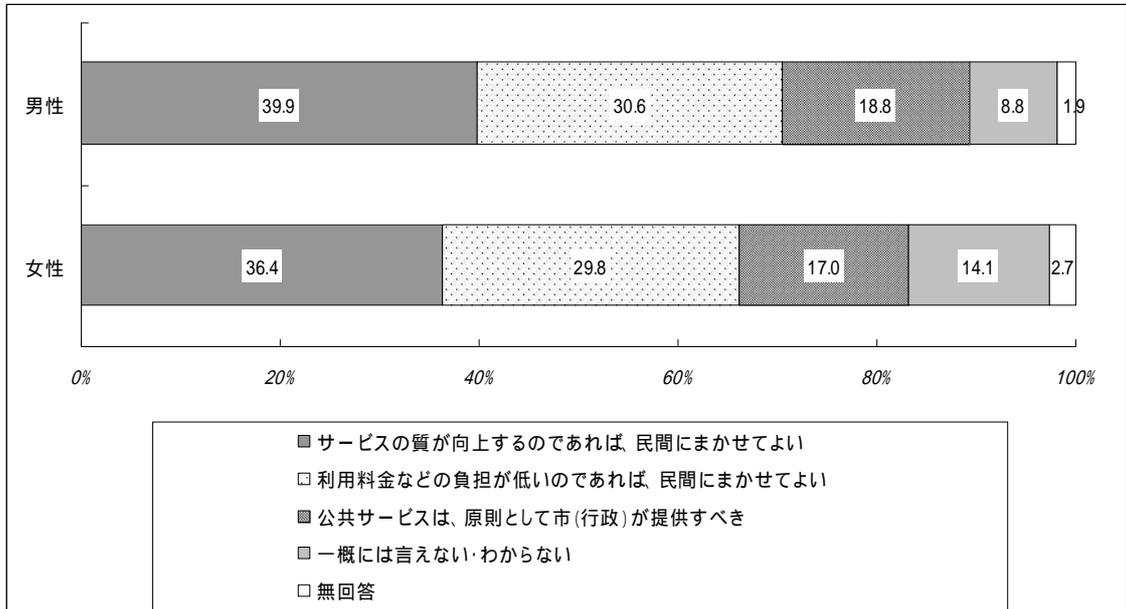


図 3 b 公共サービスの民間委託（年齢別）

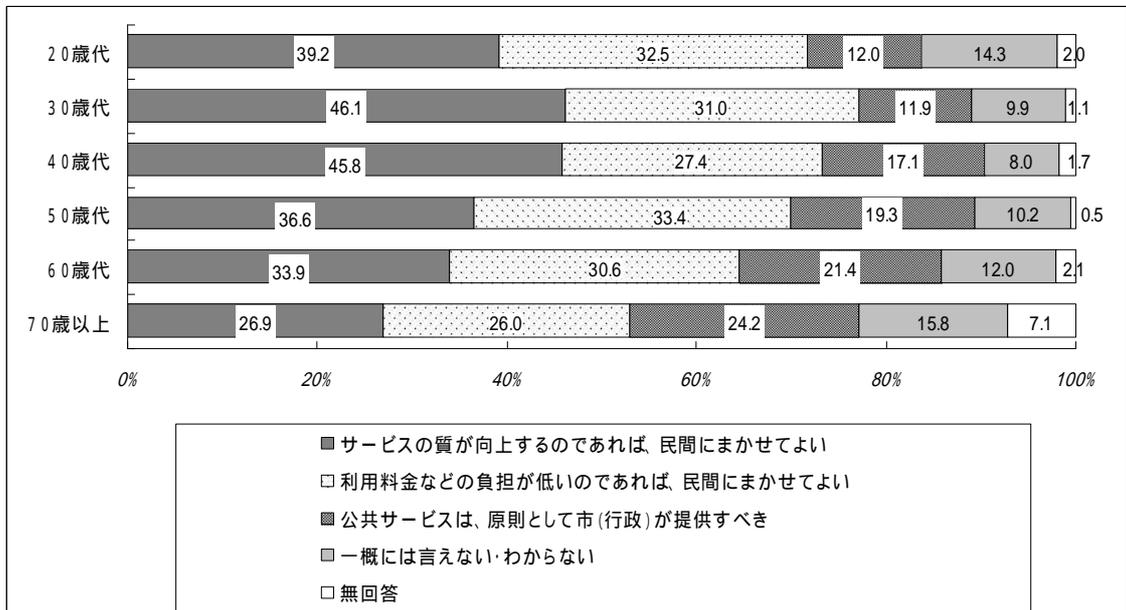


図 3 c 公共サービスの民間委託（地区別）

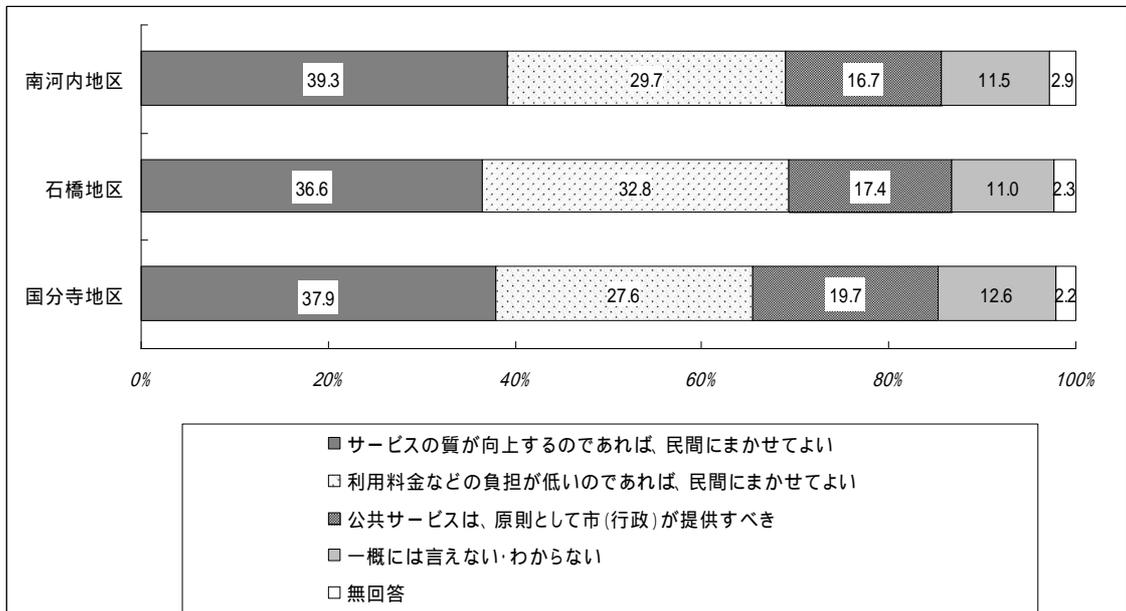
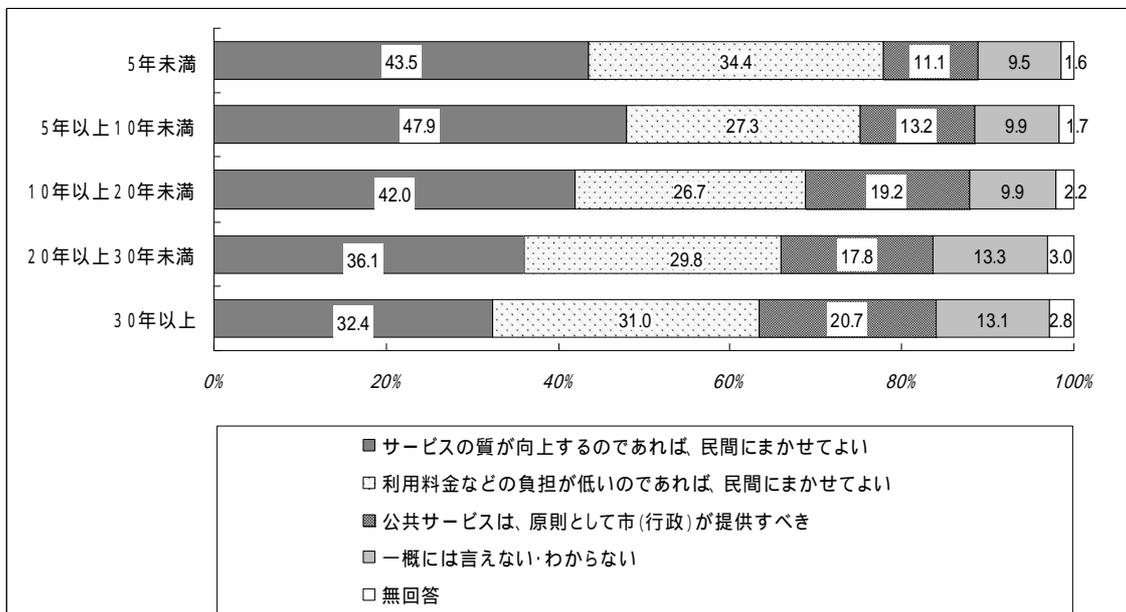


図 3 d 公共サービスの民間委託（居住年数別）



## C 今後の市の取り組み

### 問4 . 行政施策のうち、力を入れて欲しい項目

行政施策のうち、今後力を入れて欲しい取り組みについてうかがったところ、表4、図4のようになった。最も回答が多かったのは、「17 . 高齢者福祉」で27.7%、次いで「2 . 防犯」が23.2%、「22 . 保険・年金」が20.2%、「24 . 小中学校の教育」が17.2%となっている。

少子高齢化の流れのなかで、高齢者のセーフティネットや若年者層の人材育成に対する需要が大きい。また、地域全体の問題として、防犯等、安心・安全に対する意識の高まりもうかがえる。

問4 あなたは行政施策のうち、どの項目に力を入れて欲しいと思いますか。次の1～41の項目の中から適当と思われるものを3つ以内で選び、その番号を            で囲んでください。

表4 今後の重要な取り組み

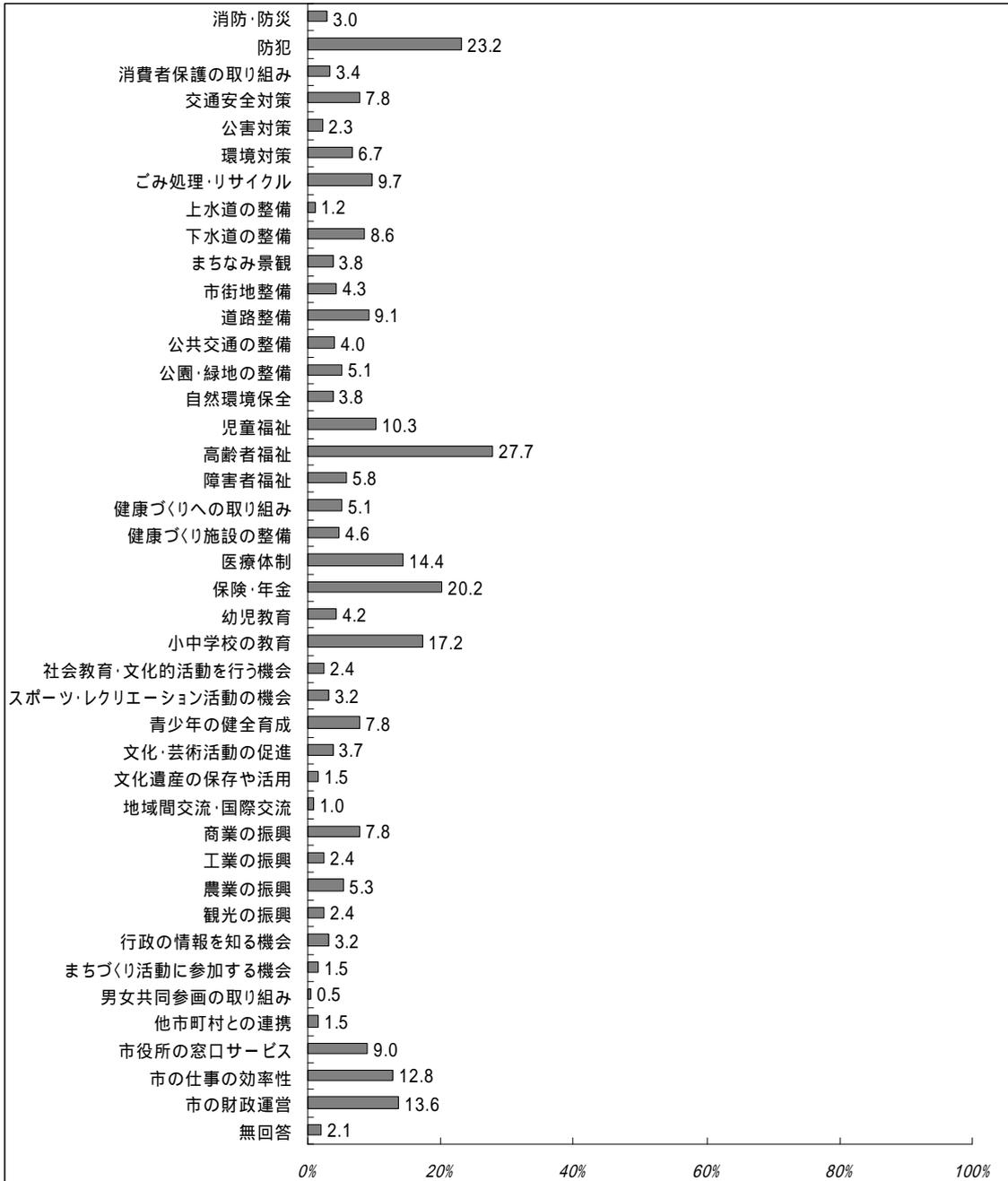
(単位：人、%)

	調査数	消防・防災	防犯	消費者保護の取り組み	交通安全対策	公害対策	環境対策	ごみ処理・リサイクル	上水道の整備	下水道の整備	まちなみ景観	市街地整備	道路整備	公共交通の整備	公園・緑地の整備
回答者数	3,357	102	780	113	261	76	224	325	41	289	127	145	307	135	171
割合	100	3.0	23.2	3.4	7.8	2.3	6.7	9.7	1.2	8.6	3.8	4.3	9.1	4.0	5.1

	自然環境保全	児童福祉	高齢者福祉	障害者福祉	健康づくりへの取り組み	健康づくり施設の整備	医療体制	保険・年金	幼児教育	小中学校の教育	社会教育・文化的活動を行う機会	スポーツ・レクリエーション活動の機会	青少年の健全育成	文化・芸術活動の促進
回答者数	126	346	929	194	171	155	483	677	140	579	82	106	262	124
割合	3.8	10.3	27.7	5.8	5.1	4.6	14.4	20.2	4.2	17.2	2.4	3.2	7.8	3.7

	文化遺産の保存や活用	地域間交流・国際交流	商業の振興	工業の振興	農業の振興	観光の振興	行政の情報を知る機会	まちづくり活動に参加する機会	男女共同参画の取り組み	他市町村との連携	市役所の窓口サービス	市の仕事の効率性	市の財政運営	無回答
回答者数	49	34	263	80	177	82	108	51	16	52	301	429	458	72
割合	1.5	1.0	7.8	2.4	5.3	2.4	3.2	1.5	0.5	1.5	9.0	12.8	13.6	2.1

図4 今後の重要な取り組み



(N=3,357 複数回答)

問 4 を性別で見ると、男女間で特に大きな差異は見られない。女性の方が割合が高く、かつ 5 ポイント程度の差がみられるのは、児童福祉、高齢者福祉、医療体制である。

年齢別にみると、年齢が低いほど割合が上昇する傾向にあるのは、防犯、交通安全対策、ごみ処理・リサイクル、児童福祉、医療体制、商業の振興などである。一方で、年齢が高いほど割合が上昇する傾向にあるのは、下水道の整備、高齢者福祉、保険・年金、青少年の健全育成、農業の振興、市の仕事の効率性、市の財政運営などである。また、小中学校の教育は 30 歳代、40 歳代の回答割合が圧倒的に高い。

地区別にみると、地区の間で割合に 5 ポイント以上の大きな差がみられるのが、防犯、下水道の整備、高齢者福祉などである。防犯は石橋地区で他の 2 地区より割合が 5 ポイント前後低く、下水道では 5 ポイントほど割合が高い。高齢者福祉は国分寺地区で他の 2 地区より 5 ポイント前後低くなっている。

居住年数別にみると、居住年数が比較的短い層で割合が高くなっているのは、防犯、児童福祉、医療体制、小中学校の教育などである。一方、居住年数が比較的長い層で割合が高くなっているのは、下水道の整備、高齢者福祉、保険・年金、農業の振興、市の財政運営などである。居住年数は年齢の影響を受けるので、年齢的な要素も見られる。

図 4 a 今後の重要な取り組み（性別）

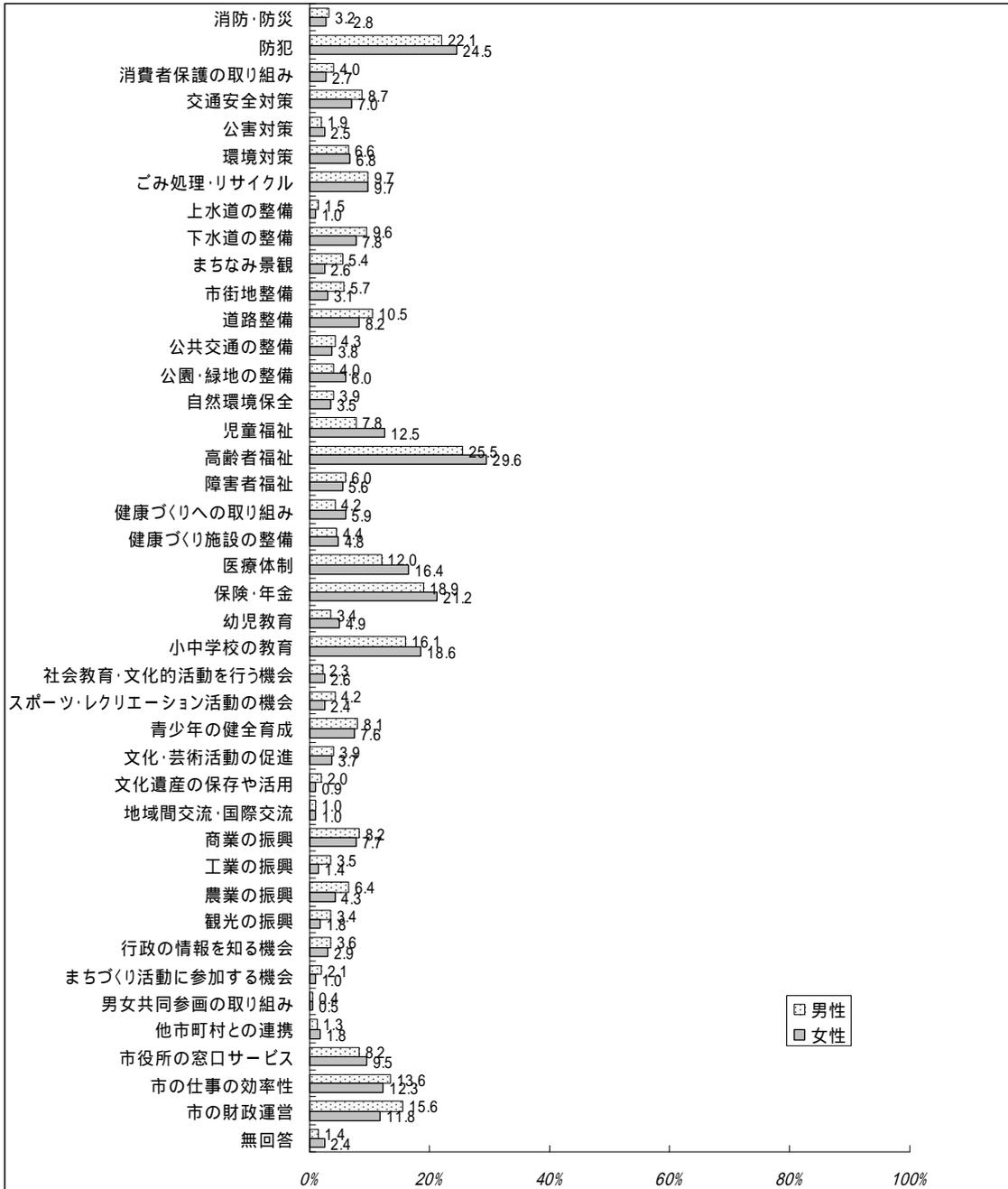


図 4b 今後の重要な取り組み（年齢別）

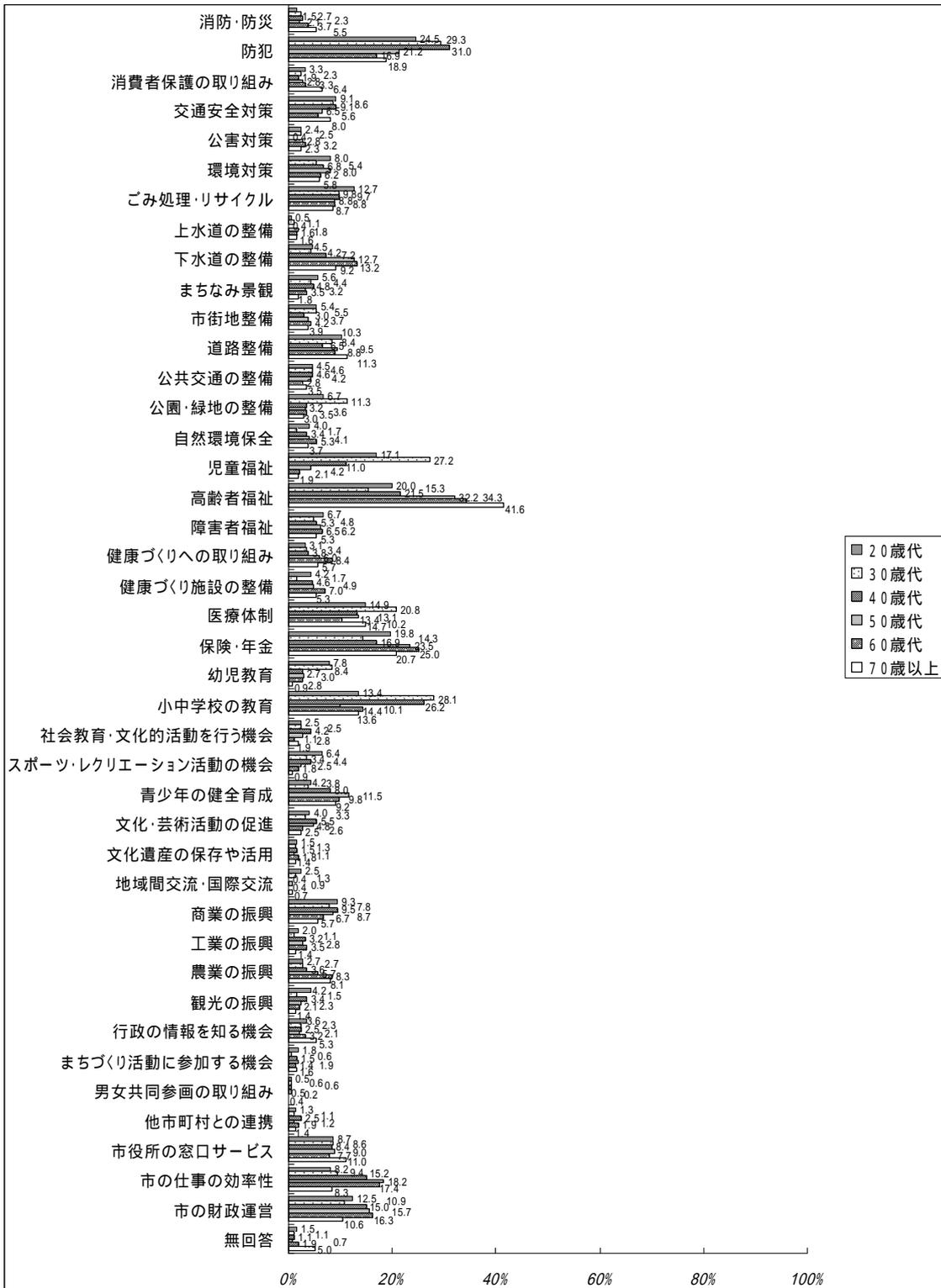


図 4c 今後の重要な取り組み（地区別）

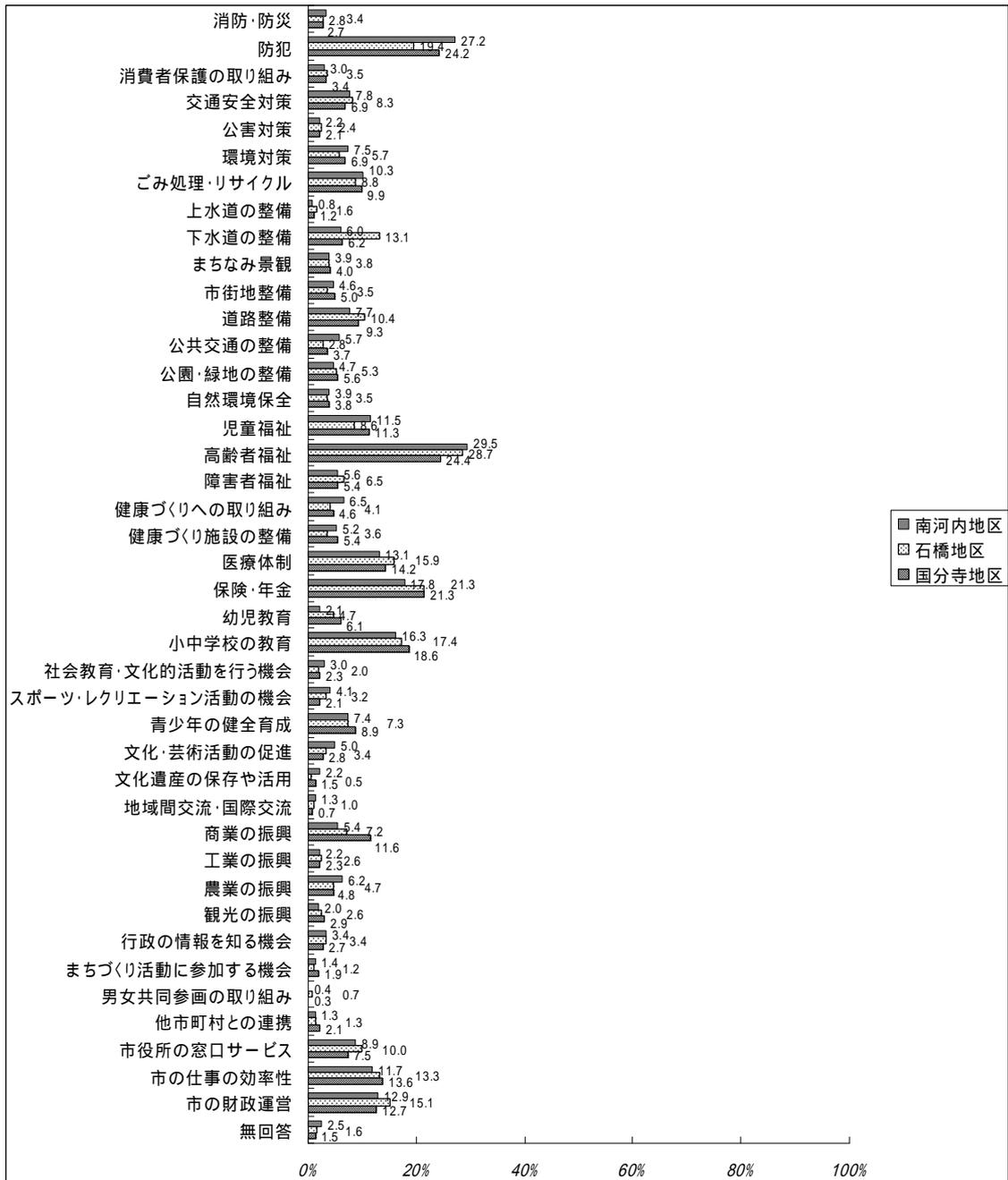
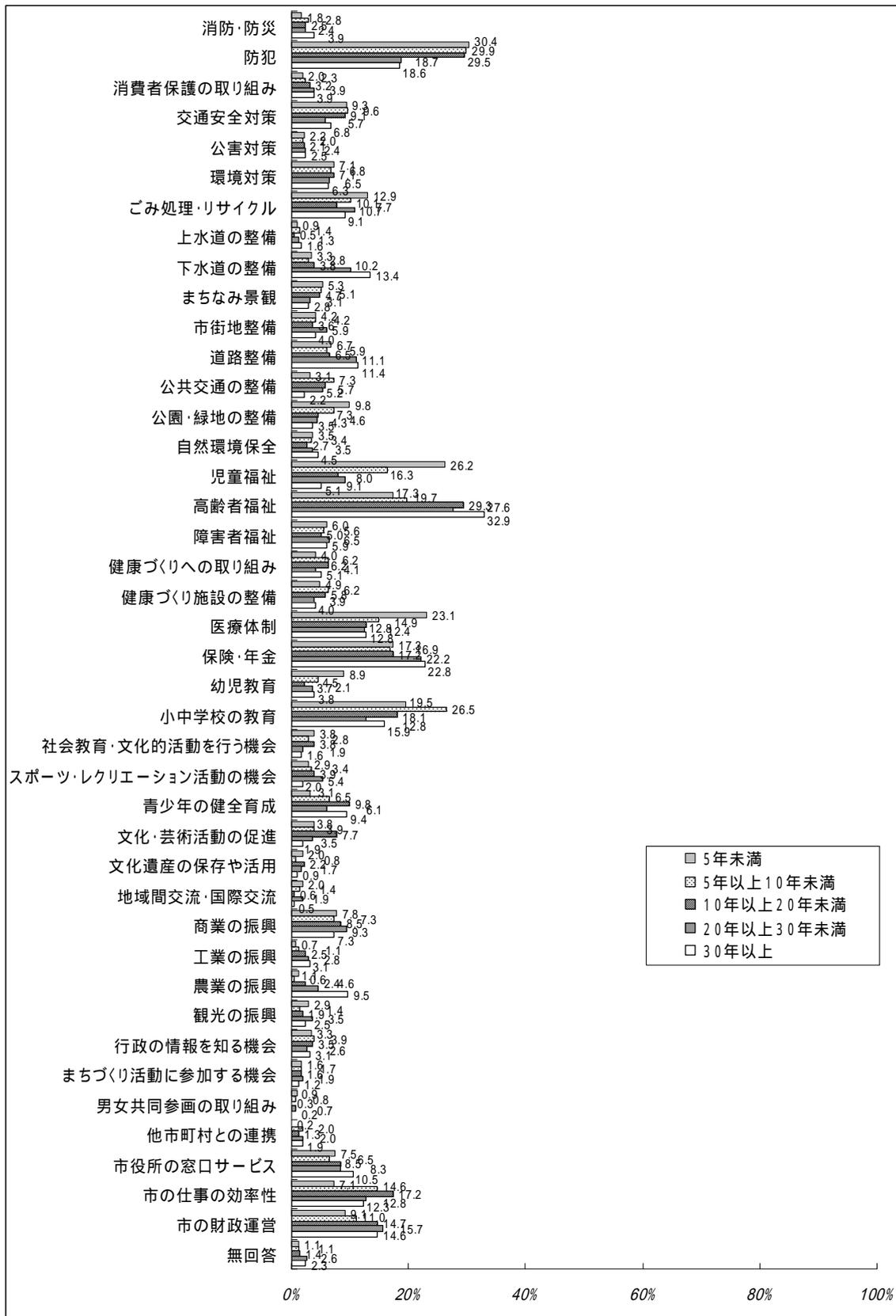
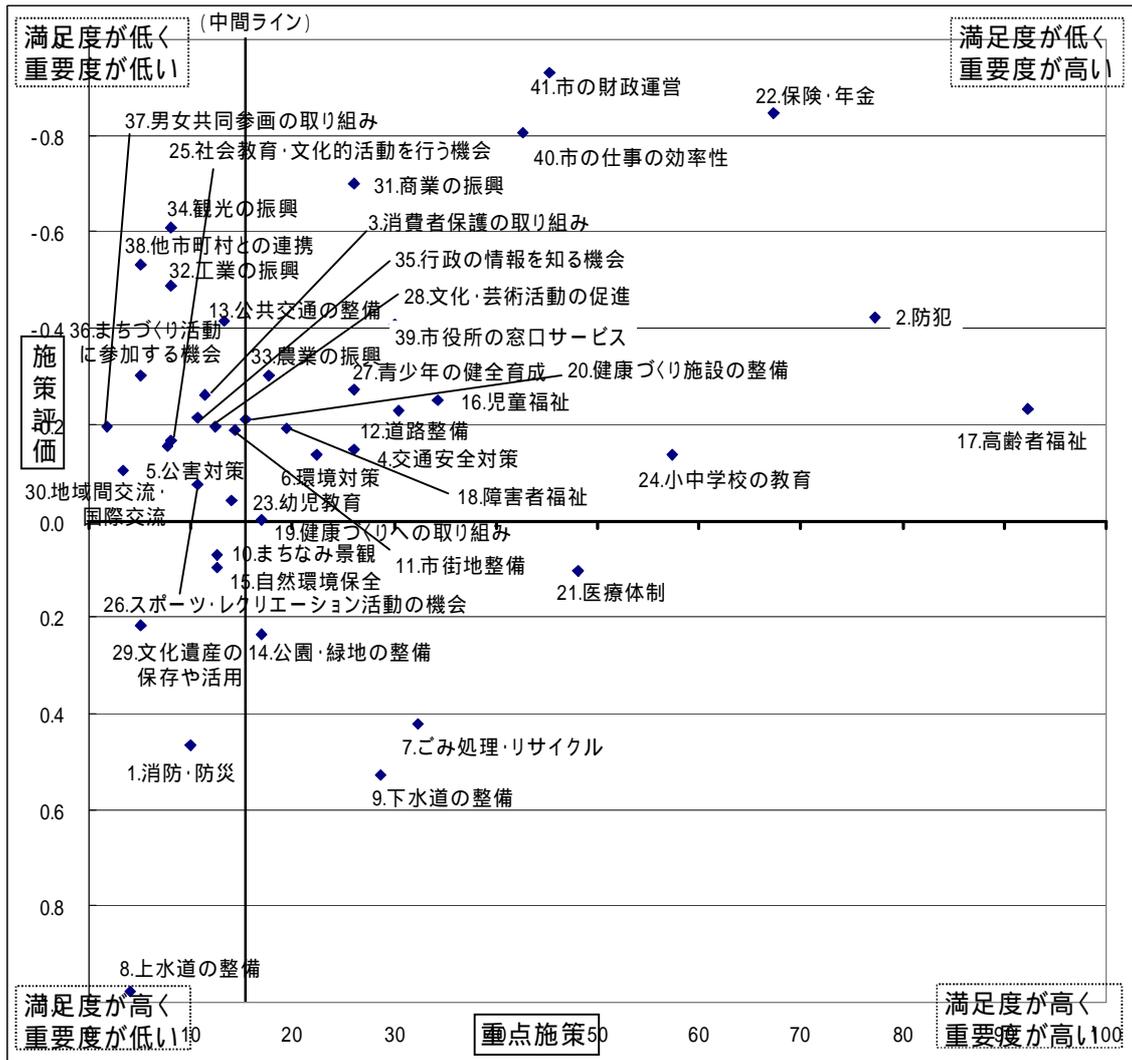


図4d 今後の重要な取り組み（居住年数別）



問1の満足度と問4の重点施策の関係を見ると、以下ようになる。グラフ右上方向に行くほど現在の満足度が低く、今後の重要度が高い施策であり、「高齢者福祉」「保険・年金」「防犯」などが挙がっている。市民のニーズが高いのは、「高齢者福祉」「児童福祉」といった福祉サービスと、「市の財政運営」「市の仕事の効率性」などの行政改革であり、産業の振興などは相対的にニーズが低い。

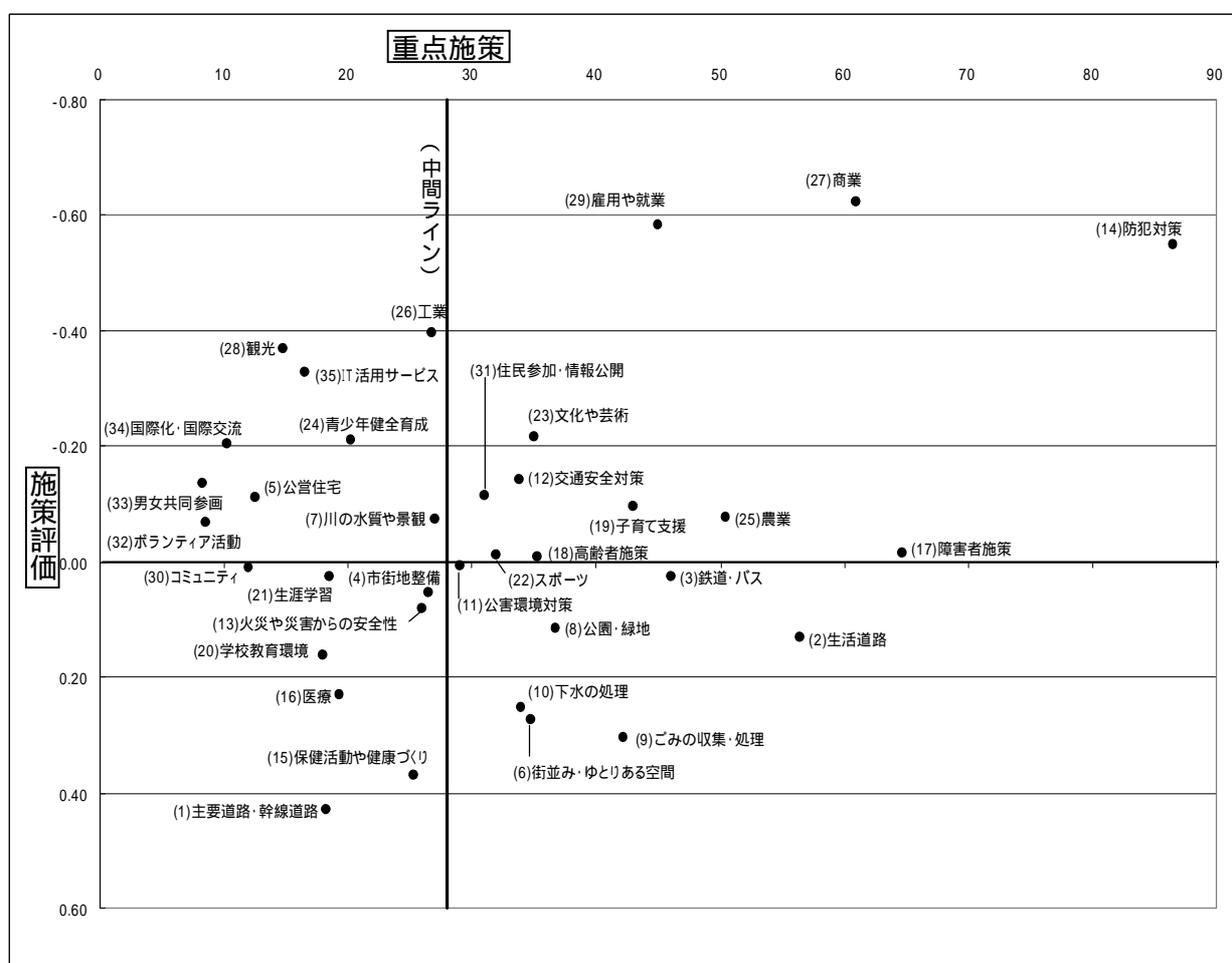


施策評価については各項目の回答数の加重平均(-4,-2,0,2,4)により、重点施策については回答率30%を100点に読み替えてグラフを作成。中間ラインは中央値を示す。

(参考)

新市建設計画に係るアンケート結果と比較すると、「満足度が低く、重要度が高い」象限にあるもののなかでは、高齢者福祉の重要度が上がっているものの、農業の振興や商業の振興は相対的に下がっているほかは、ほとんど違いが見られない。但し、今回調査では、重要施策について3つ以内を選択という条件であったため、回答率が前回より全体的に低くなっていることには留意が必要である(前回調査では5つ以内)。

前回調査には挙がっていなかった項目のなかでは、「保険・年金」「市の財政運営」「市の仕事の効率性」が、「満足度が低く、重要度が高い」象限にある。



## D まちづくりへの参加

### 問5 . ボランティアやコミュニティ活動について

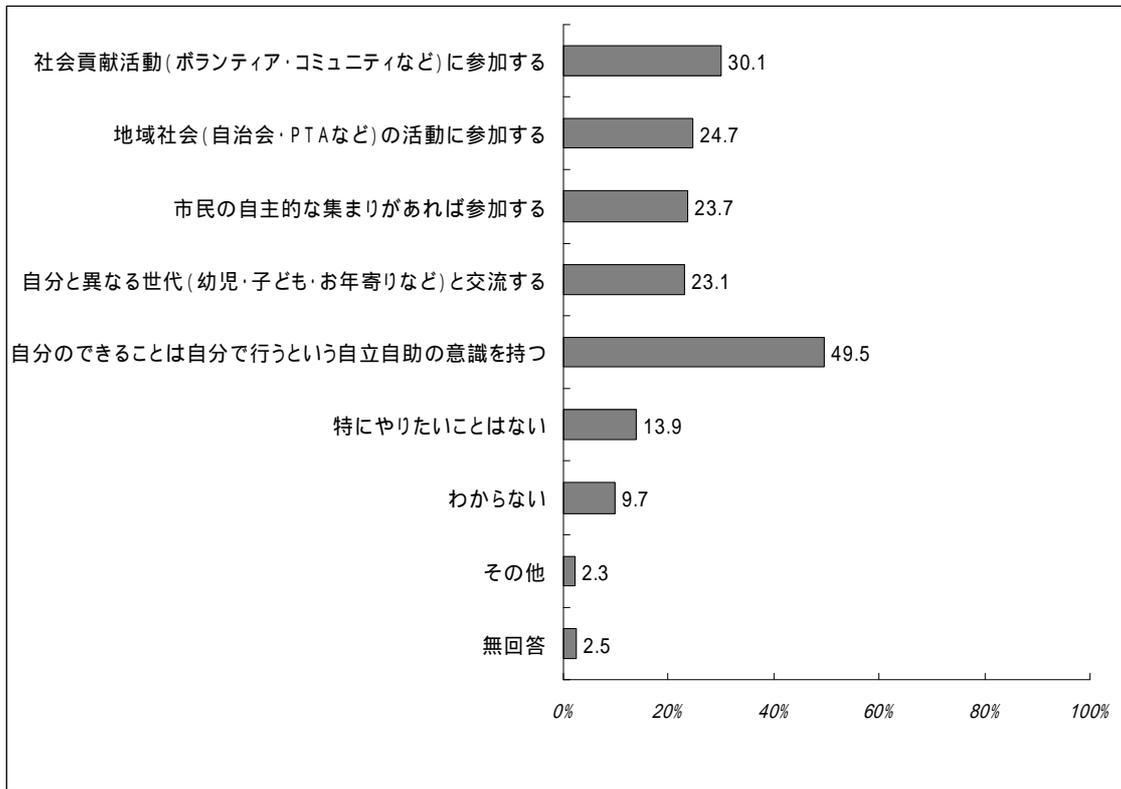
ボランティアやコミュニティ活動に対する参加意欲についてうかがったところ、表5、図5のようになった。「5 . 自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ」というまちづくりへの参加に消極的な回答が約半数（49.5%）と、最も多いうえ、「1 . 社会貢献活動（ボランティア・コミュニティなど）に参加する」という積極的な意見も30.1%と多くなっている。次いで、「2 . 地域社会（自治会・PTA など）の活動に参加する」との回答は24.7%となっており、「3 . 市民の自主的な集まりがあれば参加する」（23.7%）との回答や「4 . 自分と異なる世代（幼児・子ども・お年寄りなど）と交流する」（23.1%）との回答とともに約4分の1の回答者が積極的な意見を寄せている。

問5 ボランティアやコミュニティ活動について、あなたはどのような活動に力を注いでいきたいと考えますか。次の中から関心のあるものを3つ以内で選び、その番号を        で囲んでください。

表5 ボランティアやコミュニティ活動への参加 (単位：人、%)

	調査数	社会貢献活動(ボランティア・コミュニティなど)に参加する	地域社会(自治会・PTAなど)の活動に参加する	市民の自主的な集まりがあれば参加する	自分と異なる世代(幼児・子ども・お年寄りなど)と交流する	自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ	特にやりたいことはない	その他	わからない	無回答
回答者数	3,357	1,009	829	794	774	1,663	468	76	325	85
割合	100	30.1	24.7	23.7	23.1	49.5	13.9	2.3	9.7	2.5

図5 ボランティアやコミュニティ活動への参加意欲



(N=3,357 複数回答)

問5を性別で見ると、男性で最も割合が高いのは、「自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ」で、続いて「社会貢献活動に参加する」、「市民の自主的な集まりがあれば参加する」の順となっている。女性では、1番目と2番目に割合が高いのは男性と同様で、次いで「自分と異なる世代と交流する」が挙がっている。

年齢別にみると、20歳代では「自分と異なる世代と交流する」が最も高くなっており、次いで「自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ」となっている。20歳代以外では、1番目に挙がっているのが「自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ」と共通している。2番目は、30歳代、40歳代では、「地域社会の活動に参加する」、50歳代、60歳代、70歳以上では「社会貢献活動に参加する」となっており、比較的若い世代と比較的高年の世代で異なる傾向が見られる。また、「自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ」の割合は、年齢が高くなるにつれ高くなっており、20歳代では33.0%であるのに対し、60歳代では68.1%と30ポイント以上の差が開いている。

地区別にみると、地区間で大きな差はなく、同じ傾向を示している。

居住年数別にみると、居住年数は年齢と関連性が高いため、年齢別とほぼ同じような傾向が見られる。

図5a ボランティアやコミュニティ活動への参加意欲（性別）

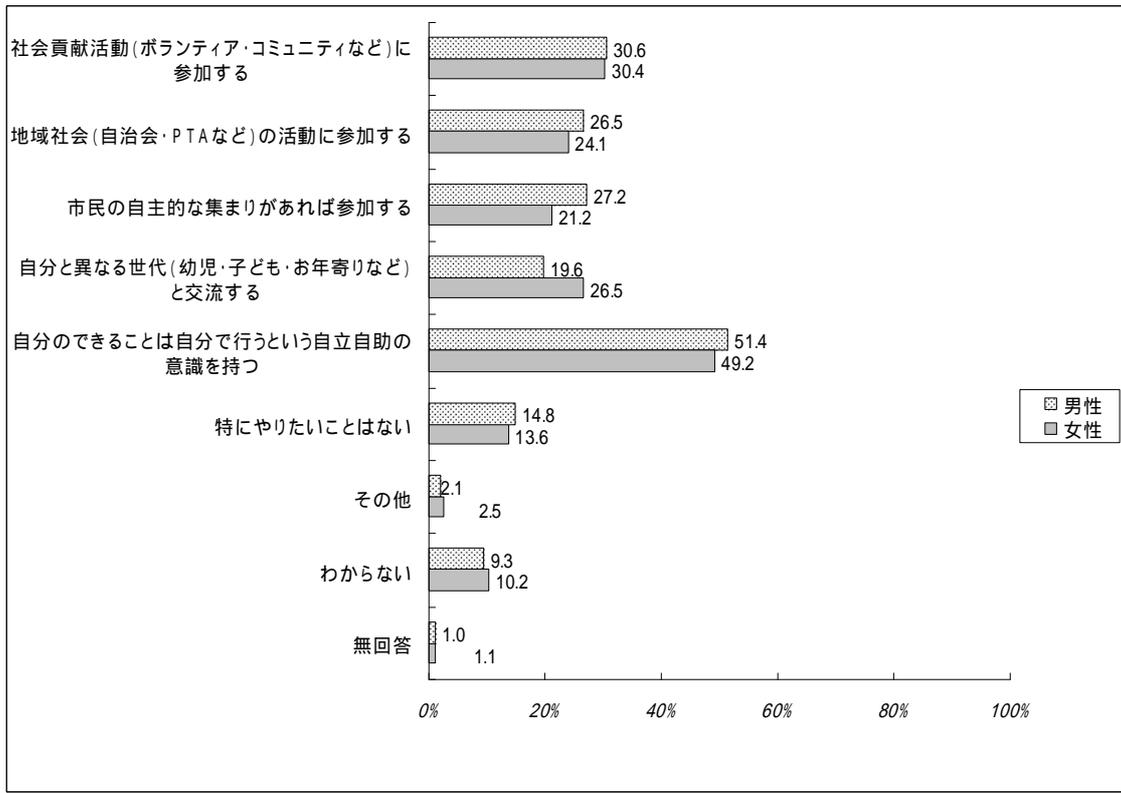


図5b ボランティアやコミュニティ活動への参加意欲（年齢別）

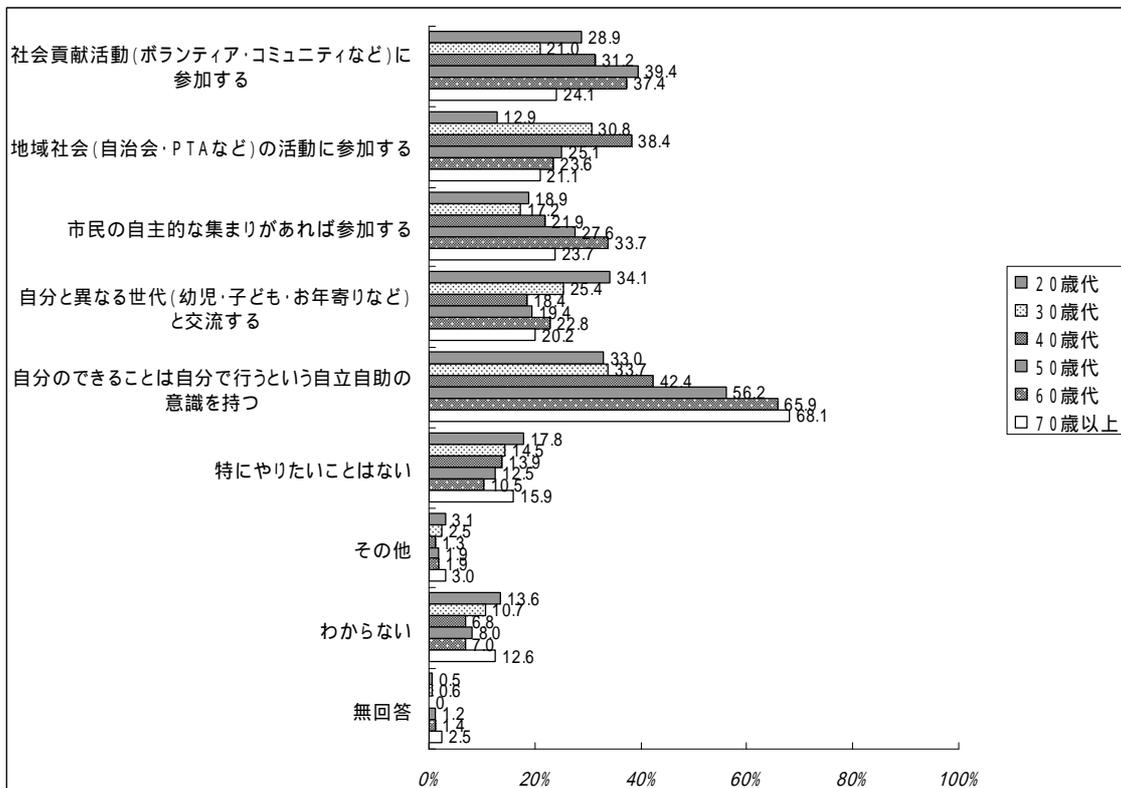


図5c ボランティアやコミュニティ活動への参加意欲（地区別）

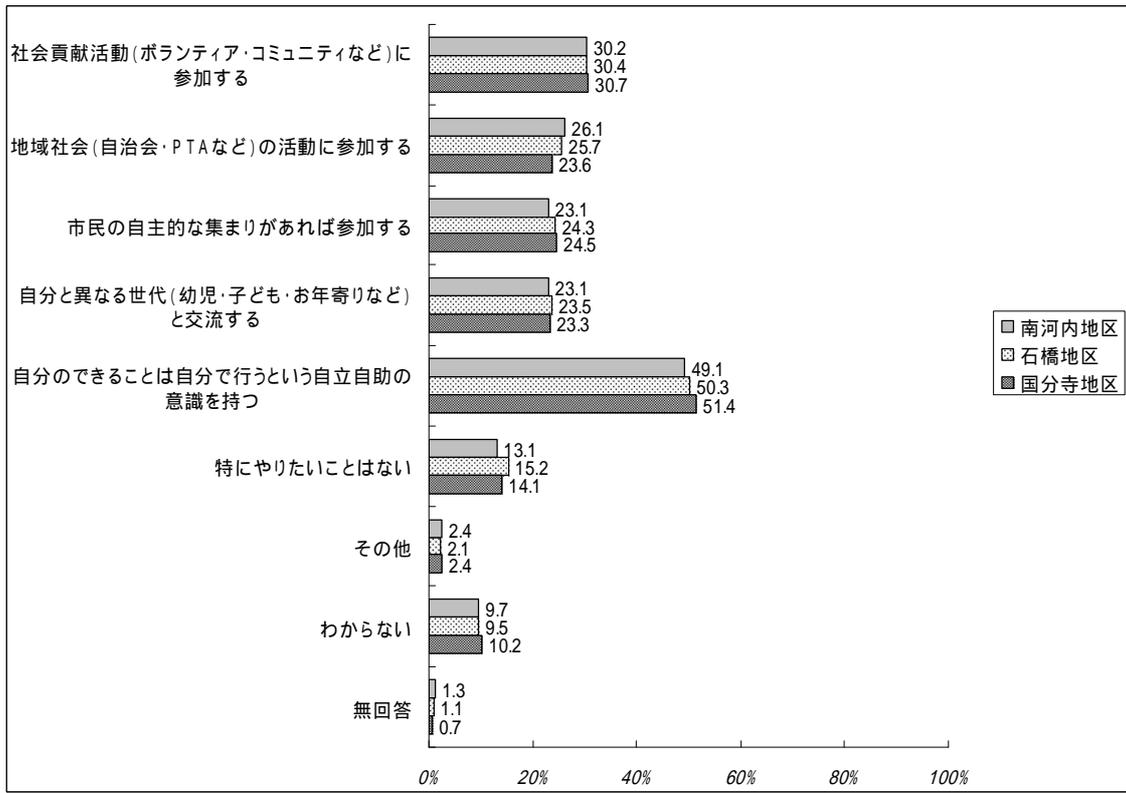
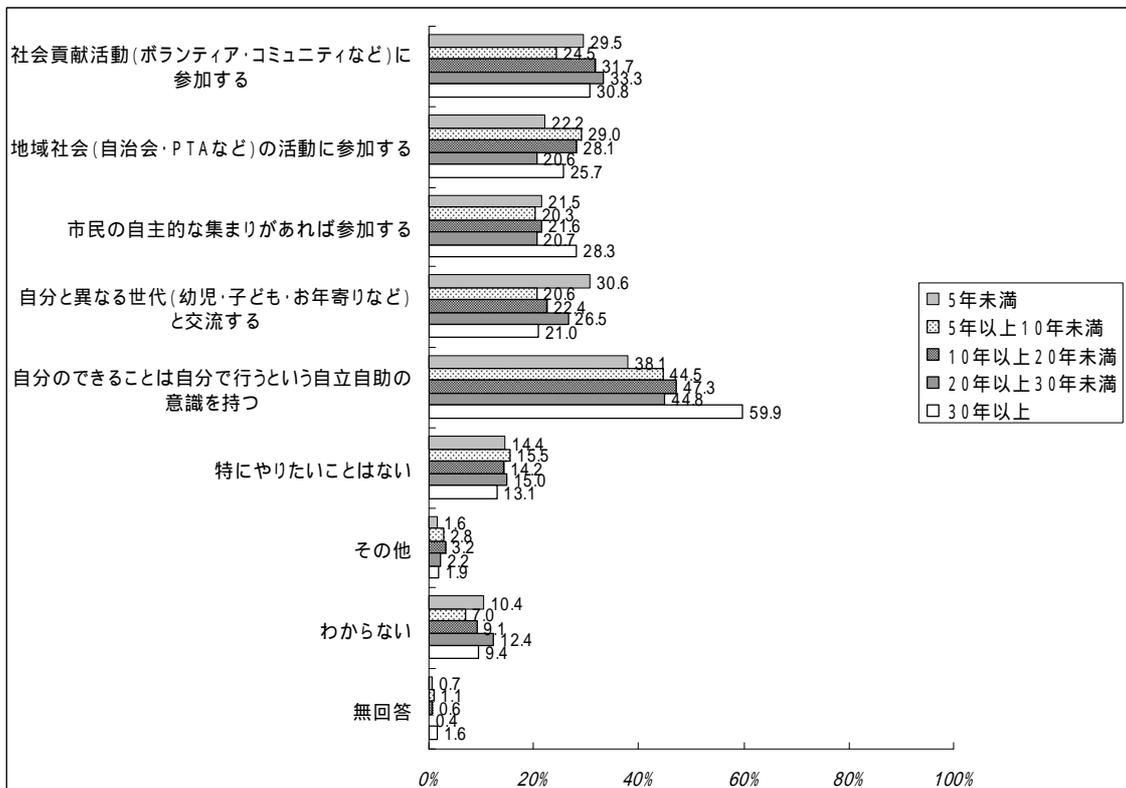


図5d ボランティアやコミュニティ活動への参加意欲（居住年数）



#### 問6 . 行政との関わりのなかでの活動

行政（市）との関わりについて、今後どのような活動をしたいかがったところ、表6、図6のようになった。「5 . 世論調査やアンケートで参加したい」との回答が、45.9%と他の回答と大差をつけて多くなっていることから、負担の少ない活動に対する参加の意志が強いと読み取れる。次に多いのは、「6 . 町会・自治会・PTA などの活動を通じて参加したい」との回答で 24.9%となっており、身近な組織への参加の意欲は高いことがうかがえる。

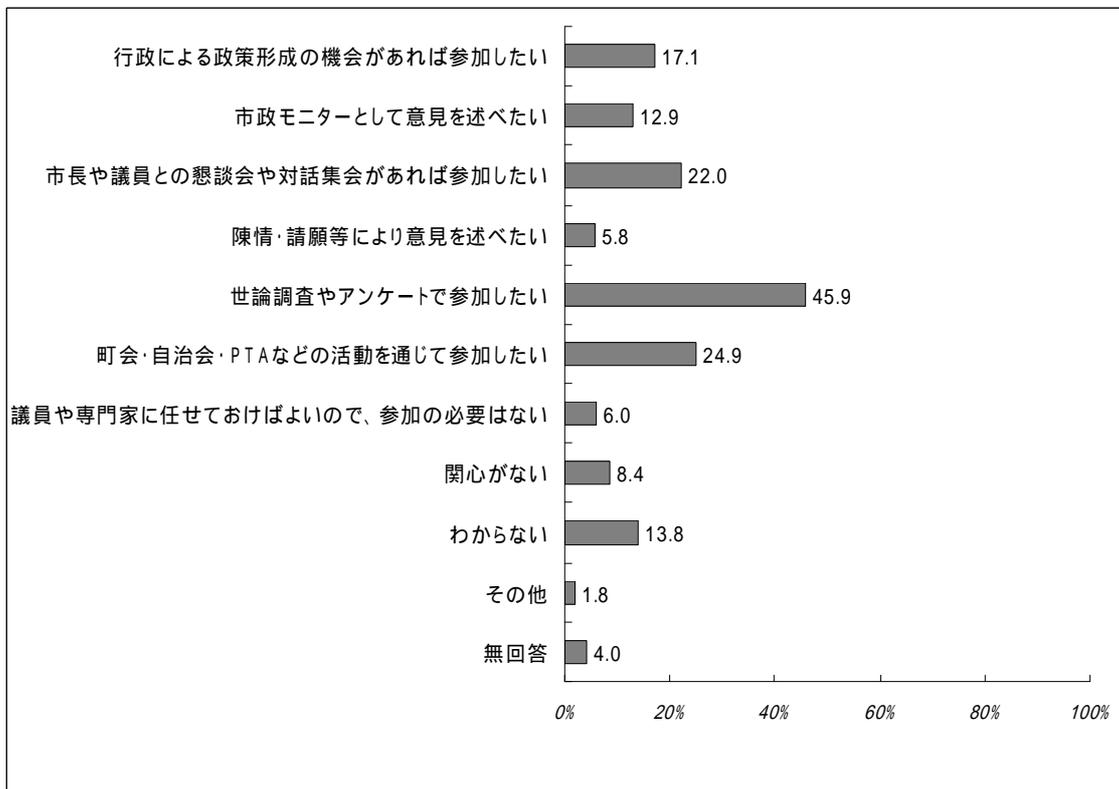
問6 行政(市)との関わりについて、あなたは今後どのような活動をしたいとお考えですか。次の中から  
関心のあるものを3つ以内で選び、その番号を        で囲んでください。

表6 行政との関わりのなかでの活動

(単位：人、%)

	調査数	行政による政策形成の機会があれば参加したい	市政モニターとして意見を述べたい	市長や議員との懇談会や対話集会があれば参加したい	陳情・請願等により意見を述べたい	世論調査やアンケートで参加したい	町会・自治会・PTAなどの活動を通じて参加したい	議員や専門家に任せておけばよいので、参加の必要はない	関心がない	その他	わからない	無回答
回答者数	3,357	573	434	740	194	1,541	837	203	281	62	464	135
割合	100	17.1	12.9	22.0	5.8	45.9	24.9	6.0	8.4	1.8	13.8	4.0

図6 行政との関わりのなかでの活動



(N=3,357 複数回答)

問6を性別で見ると、男性は「世論調査やアンケートで参加したい」の割合が最も高く、次いで「市長や議員との懇談会や対話集会があれば参加したい」、「行政による政策形成の機会があれば参加したい」の順となっている。女性は最も割合が高いのは、男性と同じく「世論調査やアンケートで参加したい」であるが、次いで高いのが「町会・自治会・PTAなどの活動を通じて参加したい」、「市長や議員との懇談会や対話集会があれば参加したい」となっており、より身近な組織・団体での活動による参加を考えている。

年齢別にみると、どの年代でも、最も割合が高いのは「世論調査やアンケートで参加したい」であり、年齢が低いほど割合が高くなっている。次いで高いのは、20歳代では「分からない」、30歳代、40歳代、50歳代では「町会・自治会・PTAなどの活動を通じて参加したい」、60歳代、70歳以上では「市長や議員との懇談会や対話集会があれば参加したい」であり、若年～中年層と高年層では異なる傾向が見られる。

地区別に見ると、特に際立った特徴は見られず、どの地区も同様の傾向を示している。

居住年数別にみると、年齢別の傾向とほぼ同じであるが、「市長や議員との懇談会や対話集会があれば参加したい」との回答は、30年以上の層で、他の層より圧倒的に高い割合になっている。

図 6 a 行政との関わりのなかでの活動（性別）

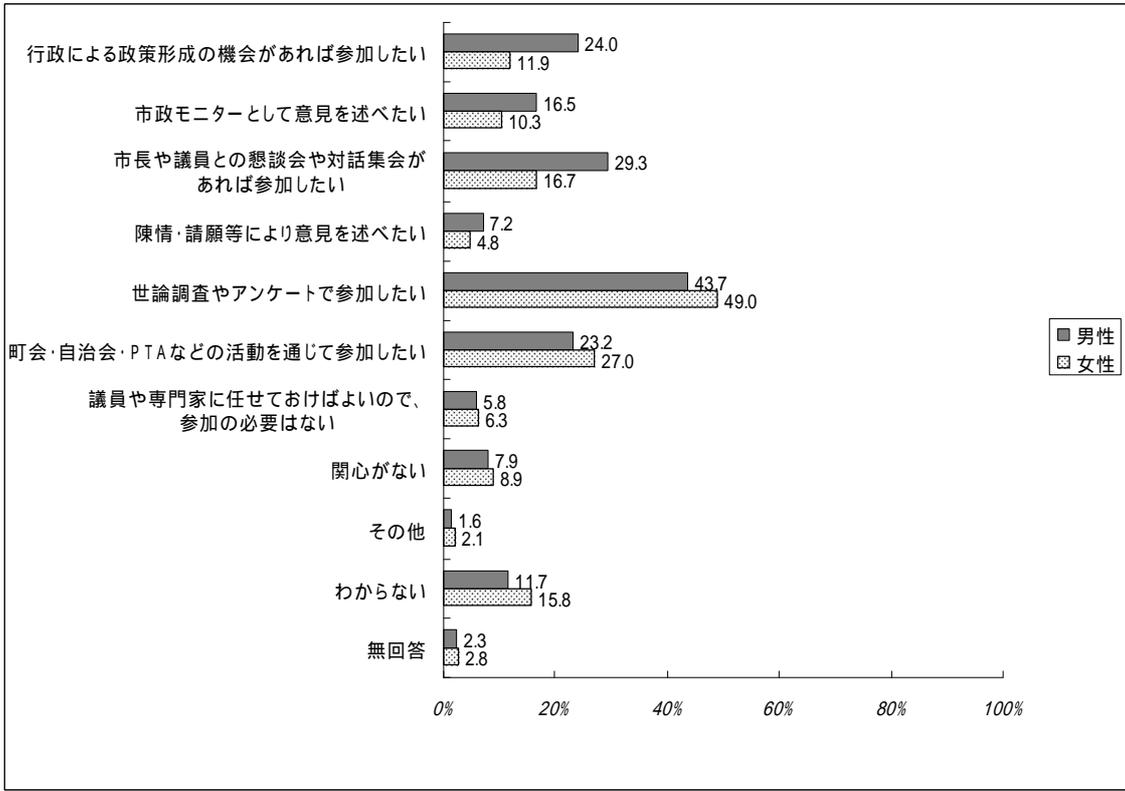


図 6 b 行政との関わりのなかでの活動（年齢別）

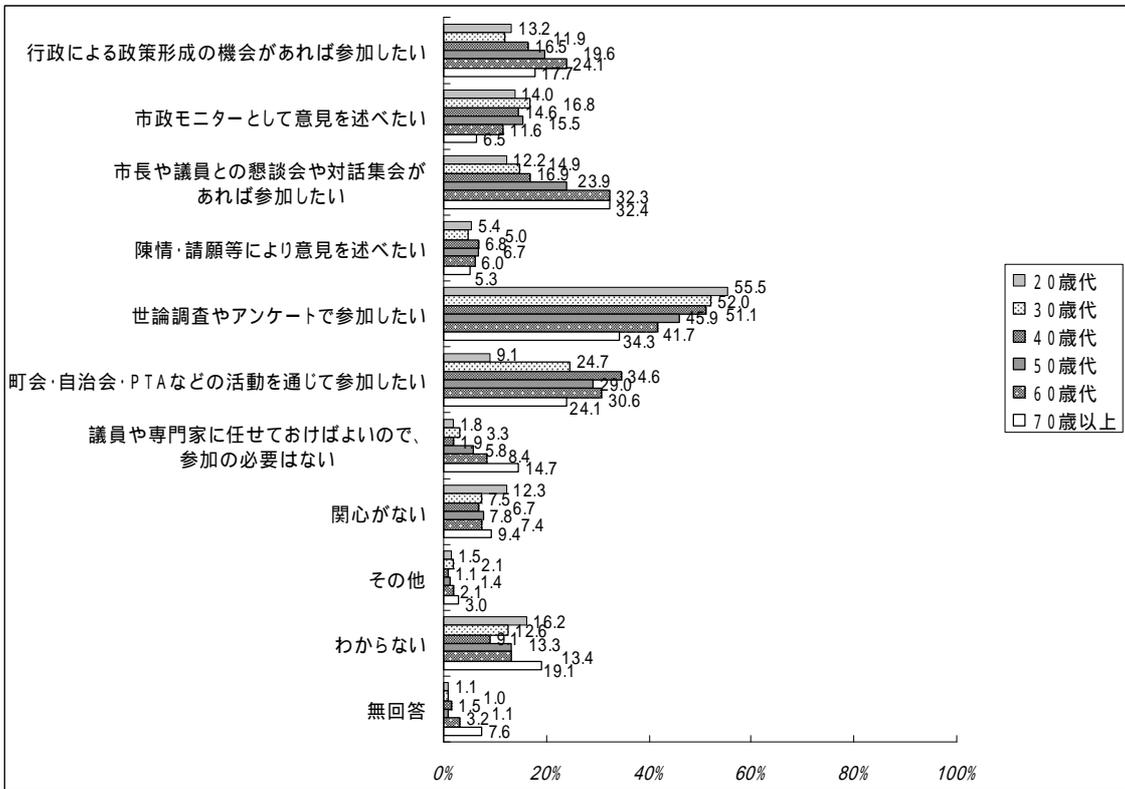


図 6 c 行政との関わりのなかでの活動（地区別）

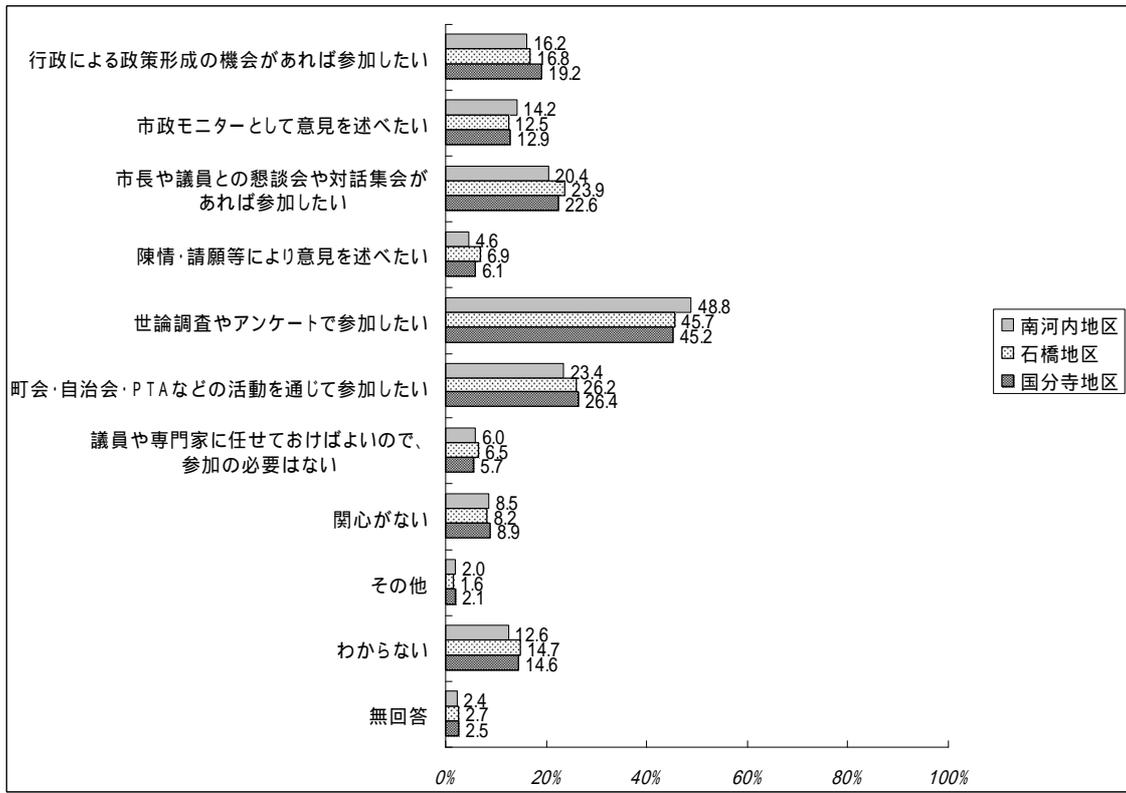
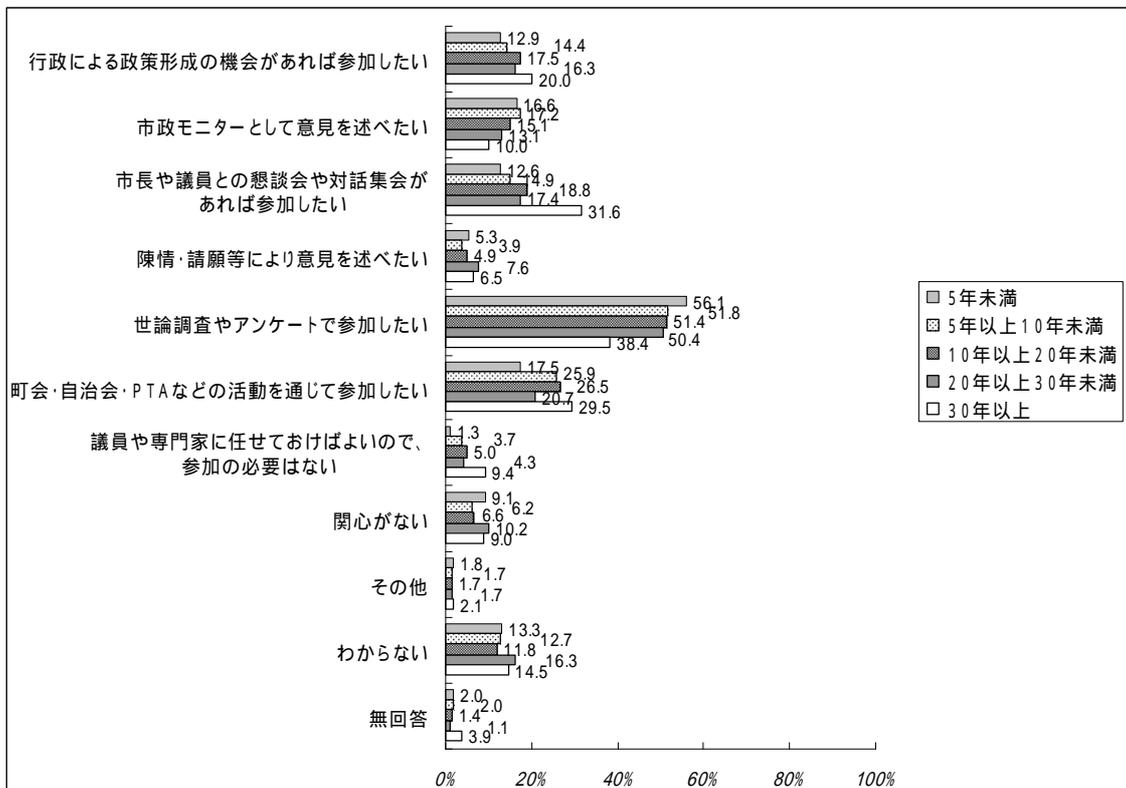


図 6 d 行政との関わりのなかでの活動（居住年数）



## E 市の将来像

### 問7 . 市の望ましい将来像

下野市をどのようなまちにするのが望ましいかうかがったところ、表7、図7のようになった。回答の割合が最も高かったのは「1 . 事件・事故や災害がなく、安心して暮らせるまち」との回答で、69.3%となっており、次いで「5 . 保健・医療・介護など福祉が充実したまち」との回答が 67.0%となっている。したがって、安心・安全に一生を送れることに対する要望が強いことがうかがえる。

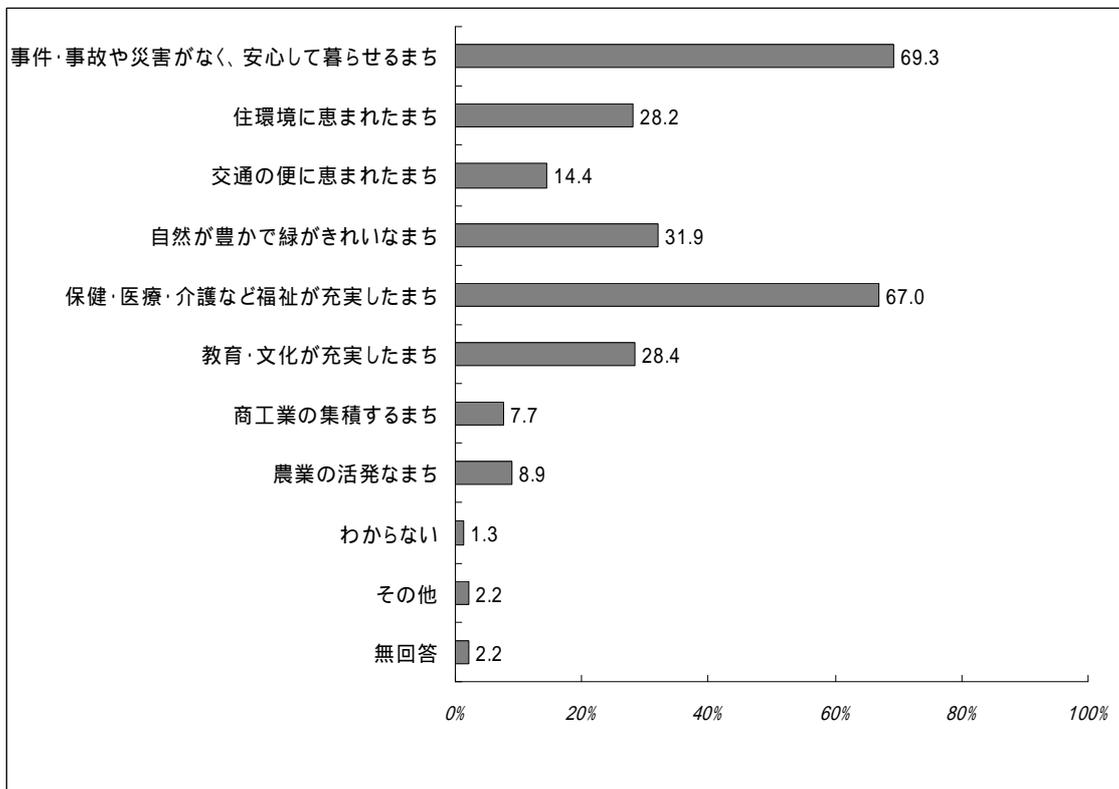
問7 下野市をどのようなまちにするのが望ましいと思いますか。次の中から重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を        で囲んでください。

表7 市の将来像

(単位：人、%)

	調査数	事件・事故や災害がなく、安心して暮らせるまち	住環境に恵まれたまち	交通の便に恵まれたまち	自然が豊かで緑がきれいなまち	保健・医療・介護など福祉が充実したまち	教育・文化が充実したまち	商工業の集積するまち	農業の活発なまち	その他	わからない	無回答
回答者数	3,357	2,326	947	484	1,072	2,249	953	259	299	75	42	74
割合	100	69.3	28.2	14.4	31.9	67.0	28.4	7.7	8.9	2.2	1.3	2.2

図7 市の将来像



(N=3,357 複数回答)

問 7 を性別でみると、男性では「事件・事故や災害がなく、安心して暮らせるまち」の割合が最も高く、次いで「保健・医療・介護など福祉が充実したまち」の順となっており、ともに 60% 台である。女性では、「事件・事故や災害がなく、安心して暮らせるまち」と「保健・医療・介護など福祉が充実したまち」が同率で 70% を超えている。

年齢別でみると、20 歳代、30 歳代、40 歳代、70 歳以上では、「事件・事故や災害がなく、安心して暮らせるまち」の割合が最も高く、次いで「保健・医療・介護など福祉が充実したまち」となっている一方、50 歳代、60 歳代では、この 2 項目が逆転している。3 番目には、20 歳代、50 歳代、60 歳代で「自然が豊かで緑がきれいなまち」が、30 歳代、40 歳代では「教育・文化が充実したまち」が挙がっている。70 歳以上は、これら 2 項目が同率となっている。

地区別でみると、南河内地区では「保健・医療・介護など福祉が充実したまち」が「事件・事故や災害がなく、安心して暮らせるまち」より若干高くなっている一方、石橋地区では「事件・事故や災害がなく、安心して暮らせるまち」の方が若干高くなっている。国分寺地区でも「事件・事故や災害がなく、安心して暮らせるまち」の方が高く、5 ポイント以上の差がある。

居住年数別でみると、5 年未満、5 年以上 10 年未満、30 年以上では「事件・事故や災害がなく、安心して暮らせるまち」の方が「保健・医療・介護など福祉が充実したまち」よりも若干高くなっており、10 年以上 20 年未満、20 年以上 30 年未満では「保健・医療・介護など福祉が充実したまち」の方が若干高くなっている。「教育・文化が充実したまち」の割合は、居住年数が比較的短い層と長い層で、回答がはっきり分かれており、比較的短い層（5 年未満、5 年以上 10 年未満、10 年以上 20 年未満）では 30% 台後半の割合となっているのに対して、比較的長い層（20 年以上 30 年未満、30 年以上）では 20% 台前半の割合となっている。居住年数が短い層の回答者は児童や生徒がいる可能性が高く、そのため教育に対する意識が高いと考えられる。

図7a 市の将来像（性別）

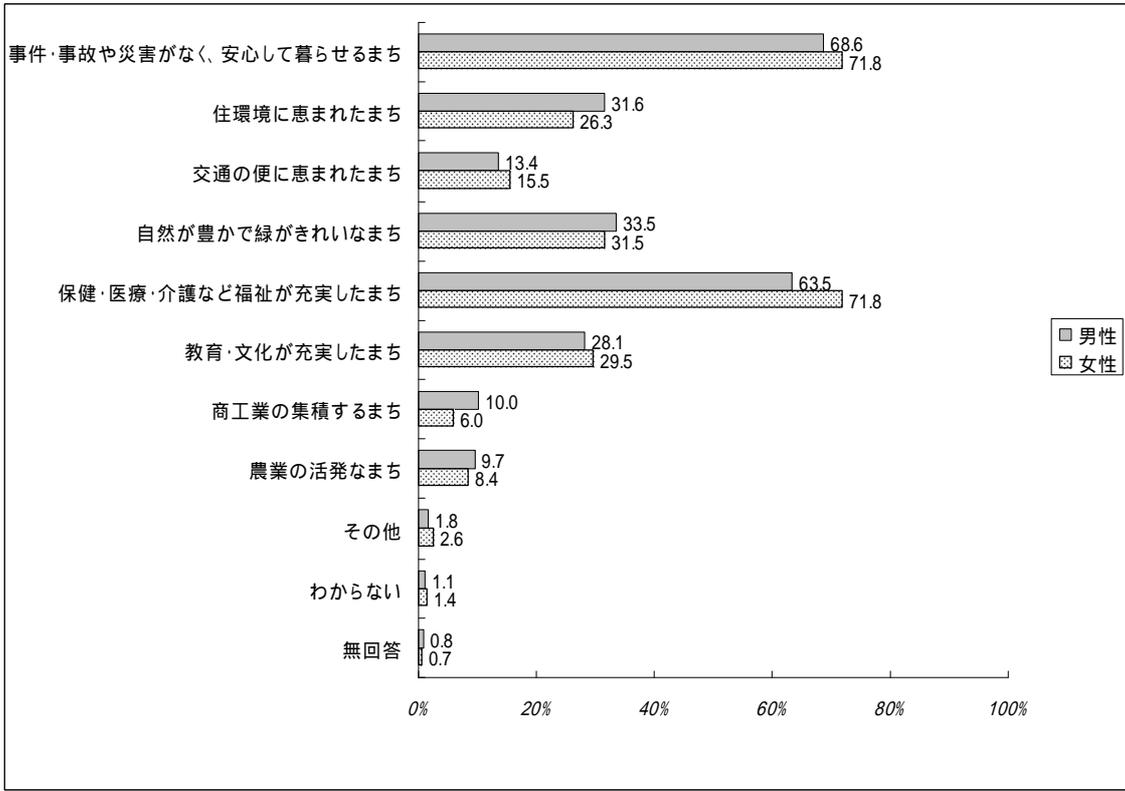


図7b 市の将来像（年齢別）

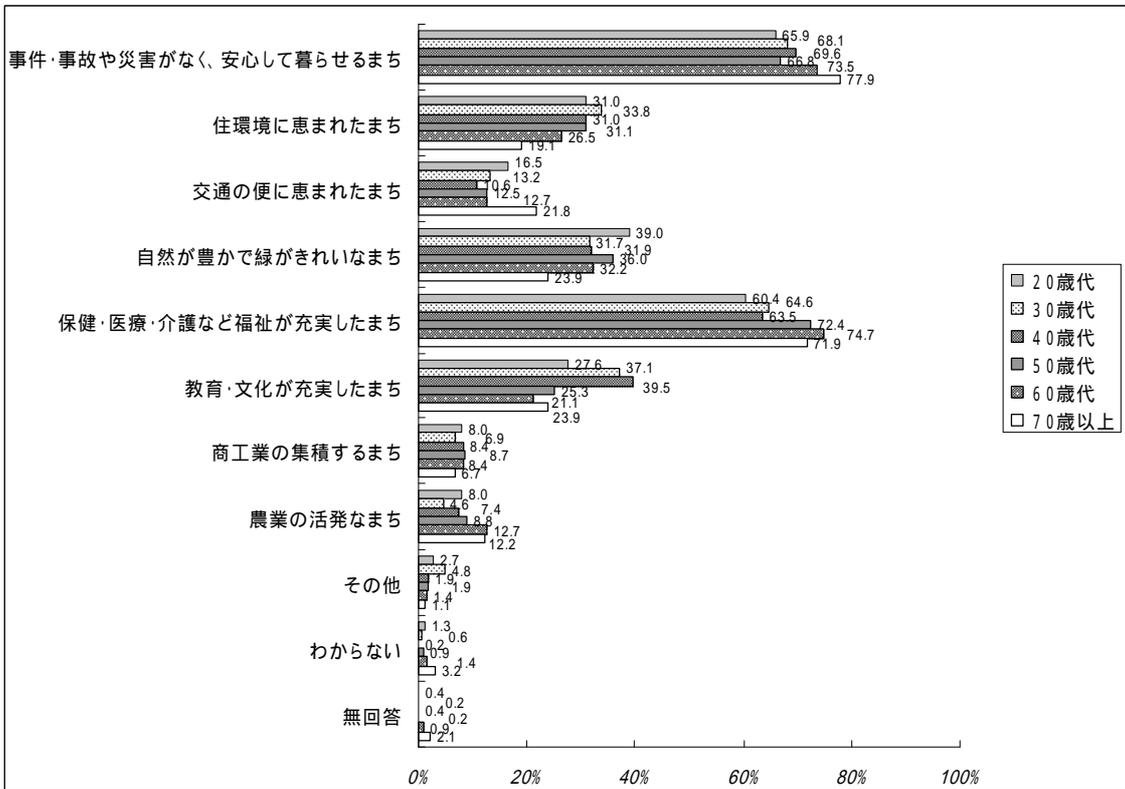


図 7c 市の将来像（地区別）

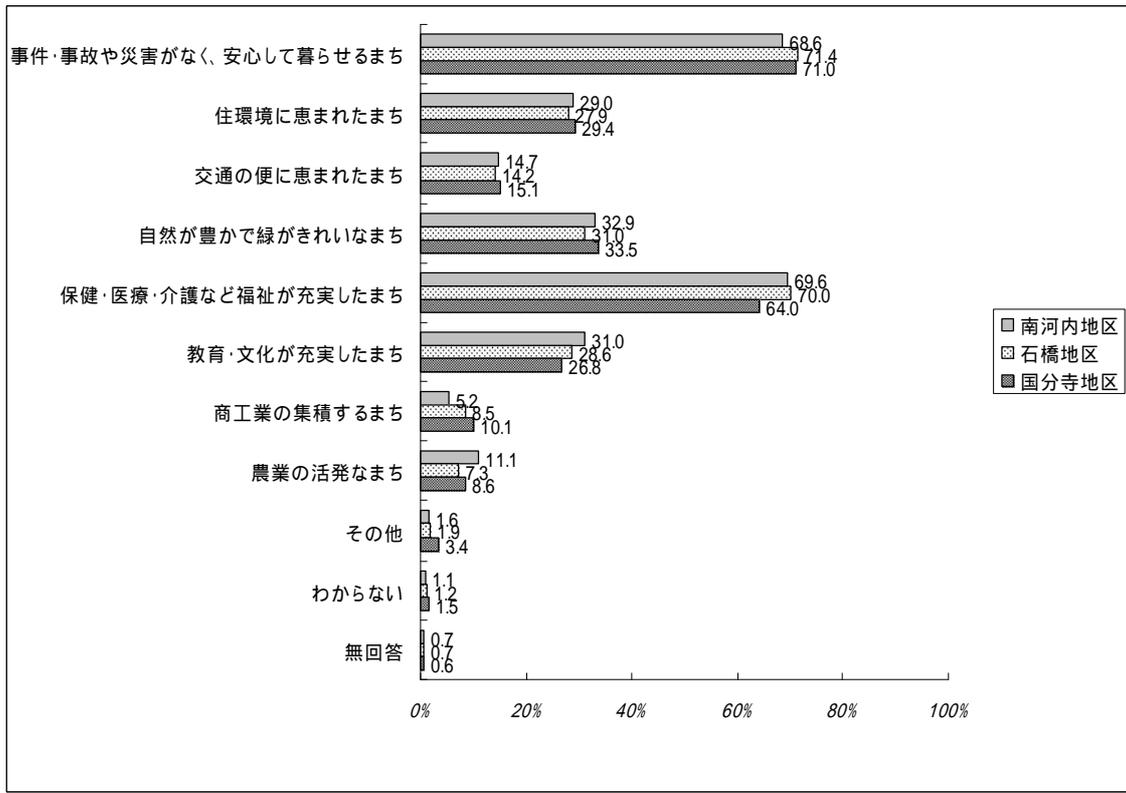
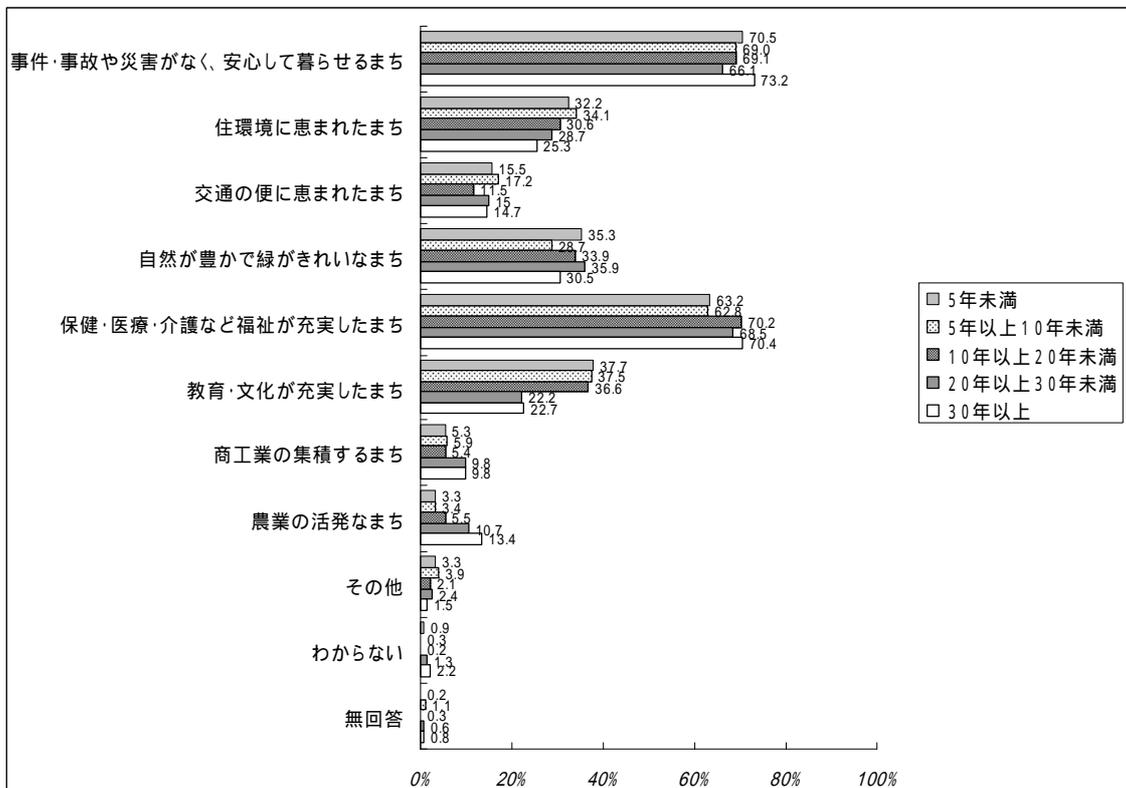


図 7d 市の将来像（居住年数別）



## F 自由回答

下野市の行政施策について、ご意見・ご提案をうかがったところ、全体で 1,918 件の意見が寄せられた。その中で、特に多くの意見が寄せられた分野は、合併直後ということもあり、行財政運営の改善、市民サービスの改善など行政に関するものであった。

他に、住環境や交通体系・産業の整備、福祉・保健医療の充実、景観・自然環境の保全、文化・スポーツや教育・交流、安心・安全なまちづくりの推進の分野についての意見・提案が多くみられた。

各分野の中の傾向をみると、行政分野においては行財政改革（税金等を安く、経費節減を等）と、合併後のあり方（合併後の市政運営、合併しての感想、今後の下野市への期待等）についての意見・提案が最も多くなっている。続いて市民サービスの向上（不便になった等）や市民への情報公開（広報などの情報提供等）、職員の対応について（サービスに差がある、教育が必要等）言及したものも多くなっていた。庁舎の一本化（分散）を含めた施設の統廃合や、このアンケート等を含めた市民の行政への参加、民間との役割分担に関する意見も寄せられていた。

住環境や交通体系・産業の分野においては、道路の整備を求める声が多くなっており、公共交通（巡回バス等）、下水道についての要望が続いている。商業の振興（中心地等）や産業の振興（企業誘致を含む）、若者向けのまちづくり、駅（周辺）のまちづくりに関する意見・要望もかなり寄せられている。

福祉・保健医療分野では、子育て環境・保育と、高齢者福祉（施設など）についての意見・要望が並んで最も多く、医療・保健の充実を求める声が続いている。

文化・スポーツや教育・交流分野においては、観光・イベントについての意見・要望が多くなっている。なかでは、市のシンボルとなる施設や祭りを求める声が見られる。続いて、教育（いじめや学校施設等）、文化（歴史・文化会館等）、スポーツ（施設・設備など）への意見・要望が多く挙げられている。

景観・自然環境分野においては、ごみ（ごみの出し方、焼却場等）についての意見・要望が最も多く、続いて環境全般、樹木（伐採）、まちなみ・景観、ペット、公園・緑化についての声も多く寄せられていた。

安心・安全なまちづくり分野では、ほとんどが安全・防犯についての意見・要望であり、なかでも街灯の整備（夜道が危ないため）を求める声が多くなっていた。

各分野における、回答の主なものは、以下のとおりである。

< 行財政運営の改善 >

（合併後の市政運営について）

- ・ 「新市への移行に伴い業務の分担など3町間の調整が大変だと思いますが、合併して良かったと思える様な町づくりを期待しています。」
- ・ 「今の下野市には正直がっかりしています。合併後良くなった事など何もないからです。ほんとうに職員の人数は適正ですか？民間ならとっくに人数減らしてます。」

(市民への情報公開・情報提供について)

- ・ 「実際に市が行っている活動を広く知らせていくことが大切だと思う、多くのひとが自分の住む町に対して興味を持ち、よりよくしていこうという意識を持てるような環境を作ってほしい。」
- ・ 「地元人間的意識の強すぎる地域だと思う。転居してきた住民にとっては住みづらい。自治会にも入りづらい空気があり、なおかつ自治会に入らなければ、広報などの情報収集の機会が全くない。アパート、マンション等も増加しているのだから、広報などは、行政が責任を持って全世帯に配布すべきではないか？」

(市政に対する市民の参加について)

- ・ 「アンケートに参加させて頂き、少しでも市のお役に立てるのであれば嬉しいです。もっと市民からの意見を聴く機会を増やして意見を活かして頂きたいです。」

(施設の管理・統廃合、公共事業の実施について)

- ・ 「市役所を出来れば一つにしてほしい。現在、3つの役所に分かれているのでこの相談は、どの役所に行けば良いのか？とかがよくわからない。」
- ・ 「市に3つも浴場はいらないと思います、古い所は処分して巡回バスを出してください。」

(行財政改革の推進について)

- ・ 「これからの少子高齢化時代、税収減に対して財政支出を減らさないと借金だらけにならないかと思う。」
- ・ 「全国の地方自治体の中で健全財政を保っている所は極少数に過ぎない。債務の事情は色々あるが大きな要因の1つとして、国の部分補助(一部負担)や低利借り入れなどによる安易な事業がある。これまでの債務増加には、行政上のやむを得ない事情も若干は考えられるが、これからは、世の中が変わったことを良く認識し、住民の声を聞きながら、周りの自治体に関係なく、「独自の行政」を打ち出す必要がある。」

<市民サービスの改善>

(行政サービスについて)

- ・ 「健康診断など、以前はコミュニティセンターで受けられたのに、今は市の保健センターまでいかなければならない。自転車、徒歩でいける所に健診場所をしてほしい。」
- ・ 「3町合併にともない福祉の事について石橋まで行くのはとても大変です。出張サービ

スとして1週間に1回くらい他の役場でも手続きができるよう検討下さい。」

- ・ 「公共サービスのあり方として民間委託も良いと回答しましたが、市としては委託をして任せきりにすることなく、きちんと状態の把握や住民側の意見を調査して絶えず監視体制を維持する事が大切だと思います。」

(職員の対応・教育について)

- ・ 「市職員の意識をもっと高めて、人材の育成と、人間性豊かな人を選んでほしい。あまりにも常識や心のない人材に失望です。」
- ・ 「庁舎によって親切に対応してくれる所と、困っていても声をかけてくれない所がある。」

<土地利用の推進>

(生活基盤の整備について)

- ・ 「住環境が良くないので独立して環境の整っている市や町に居住してしまう若者が多いように思います。私たちも今住んでいる所は下水道がなく色々な問題が起こります。何とか早く下水道を通していただきたいと思います。」
- ・ 「道路工事(上下水道工事)のずさんなところが多い。工事途中の道路を砂利のまま放置しているので自転車の子供、老人も危険。」

(駅周辺の整備について)

- ・ 「自治医大駅東口にエレベーターを設置すべき。」
- ・ 「小金井駅周辺のまちづくりを活気のあるものにしてほしい。」
- ・ 「石橋駅周辺を便利にしてほしい。商店が偏りすぎ。」

<産業の振興>

(企業誘致について)

- ・ 「若者の働く企業が少ない。それにより人口の流出が止められない。優秀な人材を確保する為、企業の誘致をすべきと思う。」

(商業について)

- ・ 「大型ショッピングモールなどが集まるような施設などがあれば、若い人が増えて、まちが活性化するのではないのでしょうか。」
- ・ 「商業が振興できれば良いなと思います。人々が集まる街、賑わう街になってほしいです。」

<交通体系の整備>

(歩行者や自転車のための道路整備について)

- ・ 「車中心の生活でなく歩行者中心の生活にできるような道路整備を。」
- ・ 「サイクリングロードをつくってください。」

(公共交通機関の充実について)

- ・ 「公共交通機関が必要と思う。巡回バス等、高齢者も1人出かけられるように。環境対策のためにも車を少なくし、公共交通機関利用の促進を。」

<福祉・保健医療の充実>

(子育て環境について)

- ・ 「児童手当をあげてほしい。保育園が少ない。仕事がない。」
- ・ 「子供が安心して暮らせる町づくりをしてほしい。」

(高齢者・障害者福祉の充実について)

- ・ 「老人ホームが少ないようである。高齢者で身寄りがない人が安心して過ごせる施設を作って欲しい。」

(保健・医療の充実について)

- ・ 「医療費助成制度を小学校6年生までに引き上げてほしい。インフルエンザの予防接種への補助を高齢者だけでなく、児童にも行ってほしい。」
- ・ 「産婦人科が廃止になってしまい不安。」

<文化・スポーツや教育・交流の推進>

(文化芸術、スポーツ、生涯学習の充実について)

- ・ 「スポーツ施設が少ないと思います。やはり若者が市に求めるものは充実したスポーツ施設の整備をやってもらいたいと思います。」
- ・ 「下野市になったのだから収容人員の多い大きな公民館を造って欲しい。」

(教育の充実について)

- ・ 「もう少し、子供の教育の方にお金を回して下さい。小学校は、トイレのドアさえ、なかなか直す事ができない様です。」
- ・ 「学校でのいじめなど問題が起きた場合、学校の先生や教育委員会は信頼できるのか。下野市独自で先生の資質向上のための研修など、目に見える形で取り組んでいただきたい。」

(交流・観光の推進について)

- ・ 「観光の振興にはあまり積極的ではないようである。国分寺、国分尼寺の貴重な遺跡にまつわるパンフレットや菜などを作成してまちの魅力度アップに取り組んで欲しい。」
- ・ 「他にはない市のシンボルとなるものがあるといいと思う。」
- ・ 「早く、3地区の垣根をとりはらい、一大イベントのお祭りを企画していただきたい。」

地区ごとにやるのではなく、市で一発やるべきでしょう。」

< 景観・自然環境の保全 >

( 景観美化、ごみ等について )

- ・ 「下野市単独のゴミ焼却場や火葬場を建設する予定はないのですか？下野市管内にもビニール袋で焼却出来る施設を要望したいと思います。」
- ・ 「医大通りの落ち葉と枝が雨、風で落ち、自転車・歩行が危険だ。」

( 公園や緑化について )

- ・ 「子供が広々と遊べる立派な公園（大松山運動公園のような）が欲しい。」
- ・ 「幼児等が遊べる公園、施設が少な過ぎる。充実し且つ安全な場を提供して欲しい。」

< 安心・安全なまちづくりの推進 >

( 防犯等について )

- ・ 「もっと街灯を増やしてください。夜になると歩行者がいても距離が近くなるとわかりません。何かあってからでは遅いとおもいます。」
- ・ 「危険な場所（暗い所、カーブ、民家のない所）に街灯、大型ミラーを設置してほしいです。街灯が立っていても未整備もあり「意味のない柱」ではないでしょうか？」

( 災害等について )

- ・ 「災害時、非常時の自治会としての対策マニュアルと、支援が必要な世帯の把握を市が押し進めていただきたい。自治会主体ではなかなか動けないのが現状。」

自由回答まとめ（1,918件）

分野	項目	件数	計
安全・安心	安全・防犯（街灯の整備を）	144	152
	災害	8	
住環境、交通、産業など	道路	120	439
	公共交通（バスなど）	73	
	下水道	57	
	中心地活性化（商業）	36	
	産業（企業誘致、若者向けに）	35	
	駅周辺 まちづくり	31	
	住環境整備（住みやすいまちづくり）	24	
	交通マナー	16	
	区画整理	14	
	自転車（放置）	8	
	地域性（地域の特色を活かす）	8	
	上水道	8	
	水路	5	
	駐車場	4	
福祉・保健医療	子育て、保育	87	295
	高齢者福祉	87	
	医療・保健	63	
	福祉全体	26	
	年金・社会保障	12	
	障害者福祉	11	
	ボランティア	9	
交流（観光）、スポーツ、教育	観光・交流・イベント（祭）	92	294
	教育	84	
	文化（歴史、文化会館）	66	
	スポーツ	52	
行政（合併後、行政サービス、役割分担など）	行財政改革（税金を安く、経費節減）	252	1,122
	合併後のあり方	248	
	サービスの向上を（不便になった）	144	
	情報公開（情報提供）	125	
	職員の対応（教育）	100	
	施設の管理（統廃合、庁舎）	81	
	市民の参加（アンケート）	80	
	庁舎について（一本化、分散）	43	
	サービスの進め方、民間との分担	28	
	自治会	13	
	議会	8	
環境・景観	ごみ（出し方、焼却場）	70	248
	環境全般、美化	50	
	樹木（伐採など）	29	
	景観、まちなみ	26	
	ペット	25	
	公園・緑化	23	
	騒音・悪臭・公害	17	
	墓地・火葬場	8	

2,550

参考: 調査票

## 「下野市総合計画策定に係る市民アンケート」ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろより市政全般にわたり、ご理解・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。平成18年1月に合併によって誕生した下野市は、新たなまちづくりに向けて、現在行政体制の整備と新市の施策展開について鋭意努力をしているところであります。

このたび、「新市建設計画」の計画期間である、平成20年度以降8年間の施策の方向を定める「総合計画」を策定するにあたり、市民の皆さまのご意見をお聞きしたく、市民アンケート調査を実施することにいたしました。

本アンケート調査は、市内にお住まいの20歳以上の方から1万人を抽出し、送付させていただきます。

調査結果はすべて統計処理され、回答者ご自身にご迷惑をおかけすることは一切ありませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

平成18年10月30日

下野市長 広瀬 寿雄

### 調査票の記入方法について

1. 宛名のご本人がお答えください。
2. 住所・氏名の記入は必要ありません。
3. 記入につきましては  
鉛筆、ボールペン等で結構です。  
回答に当てはまる項目を選び、その番号を で囲んでください。「その他」を選んだ方は( )内に、その内容を具体的にお書きください。  
質問により、回答を1つだけ選んでいただくものと、複数(3つまで)選んでいただくものがあります。また、直接、ことば・文章でご記入いただくものもありますので、各設問にお示した方法でご回答ください。
4. ご記入いただきました調査票は、11月17日(金)までに、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにお出してください。
5. 記入方法や調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。  
下野市役所 総務企画部企画財政課企画係 担当:濱野、坂本  
電話:0285-40-5552

A これまでの市の取り組みに対する満足度についておたずねします

問1 次の項目について、日常生活においてどの程度の満足感をお持ちでしょうか。  
 あなたのお気持ちに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を で囲んでください。

項目		満足	やや満足	普通	やや不満	不満
生活 基盤	1. 消防・防災	5	4	3	2	1
	2. 防犯	5	4	3	2	1
	3. 消費者保護の取り組み	5	4	3	2	1
	4. 交通安全対策	5	4	3	2	1
	5. 公害対策	5	4	3	2	1
	6. 環境対策	5	4	3	2	1
	7. ごみ処理・リサイクル	5	4	3	2	1
	8. 上水道の整備	5	4	3	2	1
	9. 下水道の整備	5	4	3	2	1
都市 基盤	10. まちなみ景観	5	4	3	2	1
	11. 市街地整備	5	4	3	2	1
	12. 道路整備	5	4	3	2	1
	13. 公共交通の整備	5	4	3	2	1
	14. 公園・緑地の整備	5	4	3	2	1
	15. 自然環境保全	5	4	3	2	1
福祉 保健 医療	16. 児童福祉(保育園、手当等、子育て支援など)	5	4	3	2	1
	17. 高齢者福祉(在宅サービス、介護保険、生きがいづくり)	5	4	3	2	1
	18. 障害者福祉(在宅サービス、社会参加)	5	4	3	2	1
	19. 健康づくりへの取り組み	5	4	3	2	1
	20. 健康づくり施設の整備	5	4	3	2	1
	21. 医療体制	5	4	3	2	1
	22. 保険・年金	5	4	3	2	1

教育・文化	23. 幼児教育	5	4	3	2	1
	24. 小中学校の教育	5	4	3	2	1
	25. 社会教育・文化的活動を行う機会	5	4	3	2	1
	26. スポーツ・レクリエーション活動の機会	5	4	3	2	1
	27. 青少年の健全育成	5	4	3	2	1
	28. 文化・芸術活動の促進	5	4	3	2	1
	29. 文化遺産の保存や活用	5	4	3	2	1
	30. 地域間交流・国際交流	5	4	3	2	1
産業	31. 商業の振興	5	4	3	2	1
	32. 工業の振興	5	4	3	2	1
	33. 農業の振興	5	4	3	2	1
	34. 観光の振興	5	4	3	2	1
行政	35. 行政の情報を知る機会(広報・広聴の充実など)	5	4	3	2	1
	36. まちづくり活動に参加する機会	5	4	3	2	1
	37. 男女共同参画の取り組み	5	4	3	2	1
	38. 他市町村との連携	5	4	3	2	1
	39. 市役所の窓口サービス	5	4	3	2	1
	40. 市の仕事の効率性	5	4	3	2	1
	41. 市の財政運営	5	4	3	2	1

B 今後の公共サービスのあり方についておたずねします

問2 あなたは公共サービス(福祉、教育、基盤整備など)を受けるなどの「権利」と、市民としての「義務」との関係についてどのようにお考えになりますか。次の中からあなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、その番号を で囲んでください。

1. 税金や公共料金を極力安くして、公共サービスを負担額に見合ったサービス内容にするべき
2. 税金や公共料金が多少高くなっても、公共サービスを充実させていくべき
3. 公共サービスの一端を市民やボランティアが担うことによって、税金などの負担を軽減すべき
4. 公共サービスの一端を市民やボランティアが担うことによって、余ったお金や人材を新たな公共サービスに振り向けるべき
5. 一概には言えない・わからない

問3 あなたは公共サービスの一部を民間に委託することについて、どのようにお考えになりますか。次の中からあなたの気持ちに最も近いものを1つ選び、その番号を で囲んでください。

1. サービスの質が向上するのであれば、民間にまかせてよい
2. 利用料金などの負担が低いのであれば、民間にまかせてよい
3. 公共サービスは、原則として市(行政)が提供すべき
4. 一概には言えない・わからない

C 今後の市の取り組みについておたずねします

問4 あなたは行政施策のうち、どの項目に力を入れて欲しいと思いますか。次の1～41の項目の中から適当と思われるものを3つ以内で選び、その番号を        で囲んでください。

生活 基盤	1. 消防・防災	教育 文化	23. 幼児教育
	2. 防犯		24. 小中学校の教育
	3. 消費者保護の取り組み		25. 社会教育・文化的活動を行う機会
	4. 交通安全対策		26. スポーツ・レクリエーション活動の機会
	5. 公害対策		27. 青少年の健全育成
	6. 環境対策		28. 文化・芸術活動の促進
	7. ごみ処理・リサイクル		29. 文化遺産の保存や活用
	8. 上水道の整備		30. 地域間交流・国際交流
	9. 下水道の整備		31. 商業の振興
	10. まちなみ景観		産業
11. 市街地整備	33. 農業の振興		
12. 道路整備	34. 観光の振興		
13. 公共交通の整備	35. 行政の情報を知る機会		
都市 基盤	14. 公園・緑地の整備	行政	36. まちづくり活動に参加する機会
	15. 自然環境保全		37. 男女共同参画の取り組み
	16. 児童福祉		38. 他市町村との連携
	17. 高齢者福祉		39. 市役所の窓口サービス
福祉 保健 医療	18. 障害者福祉	40. 市の仕事の効率性	
	19. 健康づくりへの取り組み	41. 市の財政運営	
	20. 健康づくり施設の整備		
	21. 医療体制		
	22. 保健・年金		

は1～41の中から3つ以内でお願いします。

D まちづくりへの参加についておたずねします

問5 ボランティアやコミュニティ活動について、あなたはどのような活動に力を注いでいきたいと考えますか。次の中から関心のあるものを3つ以内で選び、その番号をで囲んでください。

1. 社会貢献活動(ボランティア・コミュニティなど)に参加する
2. 地域社会(自治会・PTAなど)の活動に参加する
3. 市民の自主的な集まり(まちづくりのグループ等)があれば参加する
4. 自分と異なる世代(幼児・子ども・お年寄りなど)と交流する
5. 自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ
6. とくにやりたいことはない
7. その他(具体的に )
8. わからない

問6 行政(市)との関わりについて、あなたは今後どのような活動をしたいとお考えですか。次の中から関心のあるものを3つ以内で選び、その番号をで囲んでください。

1. 行政による政策形成(まちづくり審議会など)の機会があれば参加したい
2. 市政モニターとして意見を述べたい
3. 市長や議員との懇談会や対話集会があれば参加したい
4. 陳情・請願等により意見を述べたい
5. 世論調査やアンケートで参加したい
6. 町会・自治会・PTAなどの活動を通じて参加したい
7. 議員や市職員、専門家にまかせておけばよいので、参加する必要はない
8. 関心がない
9. その他(具体的に )
10. わからない

E 市の将来像についておたずねします

問7 下野市をどのようなまちにするのが望ましいと思いますか。次の中から重要と思われるものを3つ以内で選び、その番号を で囲んでください。

1. 事件・事故や災害がなく、安心して暮らせるまち
2. 住環境に恵まれたまち
3. 交通の便に恵まれたまち
4. 自然が豊かで緑がきれいなまち
5. 保健・医療・介護など福祉が充実したまち
6. 教育・文化が充実したまち
7. 商工業の集積するまち
8. 農業の活発なまち
9. その他(具体的に )
10. わからない

F あなた自身のことについておたずねします

問8 あなたの性別をお答えください(番号を で囲んでください)。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問9 あなたの年齢をお答えください(番号を で囲んでください)。

- |         |          |
|---------|----------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代  |
| 3. 40歳代 | 4. 50歳代  |
| 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |

問10 あなたはどちらにお住まいですか。

- |          |         |          |
|----------|---------|----------|
| 1. 南河内地区 | 2. 石橋地区 | 3. 国分寺地区 |
|----------|---------|----------|

問11 あなたが、現在の地区にお住まいになっている年数(転居されたことのある方は通算の年数)をお答えください(番号を で囲んでください)。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 5年未満       | 2. 5年以上10年未満  |
| 3. 10年以上20年未満 | 4. 20年以上30年未満 |
| 5. 30年以上      |               |

G 最後にあなたの自由なご意見をお聞かせください

問12 下野市の行政施策について、ご意見・ご提案がございましたら下欄にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒を使用し、11月17日(金)までにポストにご投函ください(切手を貼る必要はありません)。

～ ご協力ありがとうございました。～